

多様な学生活動を支援する大学キャンパス内 オープンスペースの整備と管理・運営に関する研究

緑地計画学研究グループ 藤村幸司

1章 研究の背景と目的

■研究の背景

■大学において、主体的な活動や多様な交流を支えるキャンパス環境の充実が求められている

●「知の拠点-我が国の未来を拓く国立大学法人等施設の整備充実について」(2011)

●大学設置基準改正(2012年)・施行(2013)による空地要件の緩和

→キャンパスの機能・役割

・高度な教育研究活動を支える施設

・多様な背景を有する学生と教職員が多様な活動や交流を行う場

・学外者も含めた多様な人々が利用する開かれた公共空間を形成する場

●大学図書館におけるラーニング・コモンズなど屋内空間の整備は進みつつある

●キャンパス内オープンスペース(以下、OS)の活用は十分に進んでいない

■研究の目的

OSの整備・管理・利用の実態を把握し、多様な活動や交流を支えるOSの整備と管理・運営のあり方を探る

■論文の構成

第1章

研究背景・目的・方法

第2章

OSの整備・管理実態の把握

機能意識

管理実態

整備実態

第3章

拠点広場の利用実態の把握

空間特性

利用実態

第4章

多様な学生活動を支援する
大学キャンパス内オープンスペースの
整備と管理・運営のあり方

■調査対象大学

近畿2府4県に所在する4年制大学＝146大学
(国立大学:12大学、公立大学:12大学、私立大学:122大学)

■アンケート調査

- 郵送法
- 実施期間:2012年8～9月
- 対象者:施設管理者
- 設問項目
 - ・OSに対する意識
 - ・利用規制
 - ・管理上の課題
 - ・拠点広場の整備状況

配布数	有効回答数	有効回答率
146	52 (国公立:20 私立:32)	35.6%

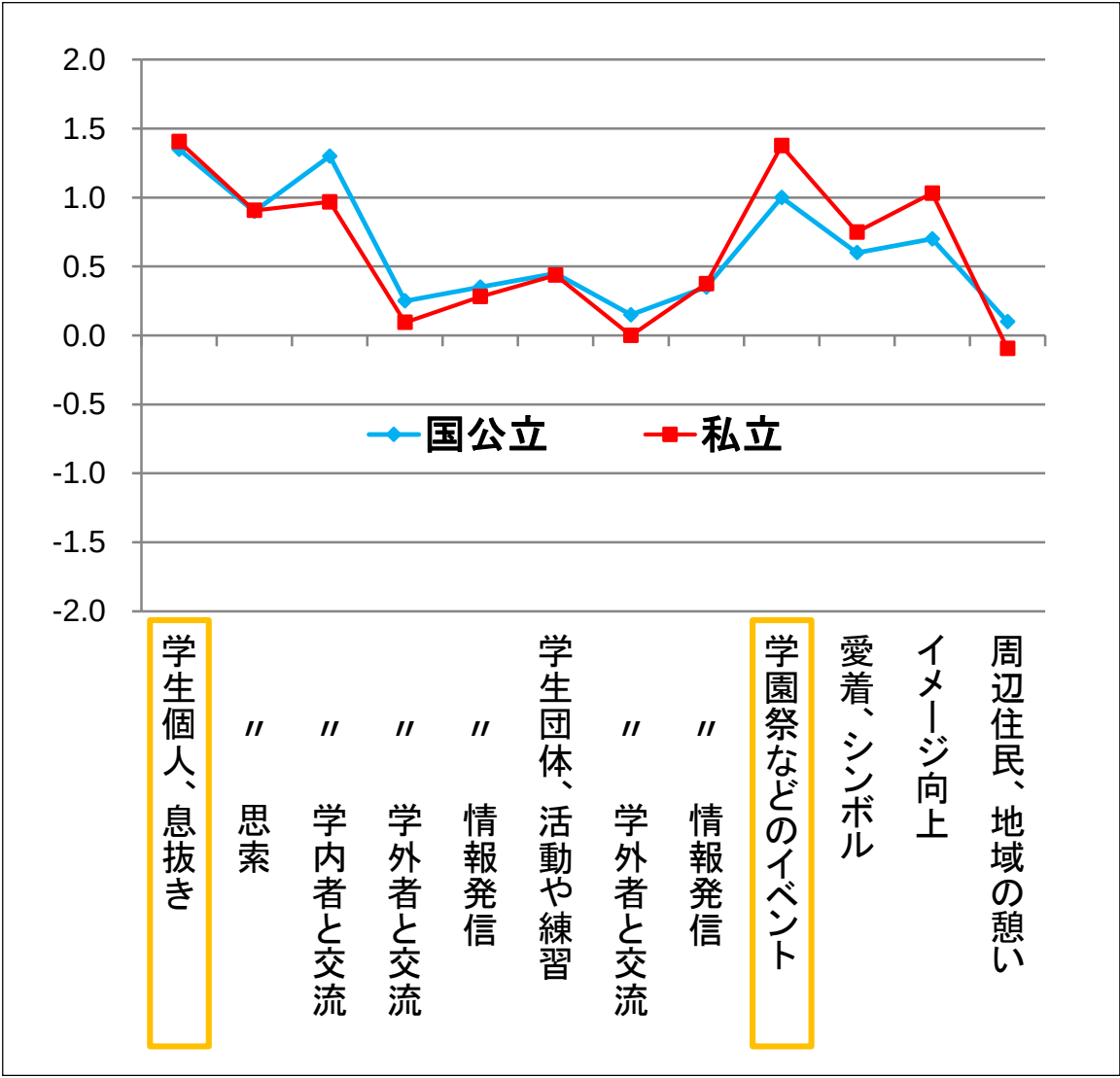
■解析

国公立／私立のクロス集計

2章 整備・管理実態の把握 オープンスペースの機能に対する意識

評価点 【とても重要(+2点)ー重要(+1点)ーどちらとも言えない(0点)ー重要でない(-1点)ー全く重要でない(-2点)】

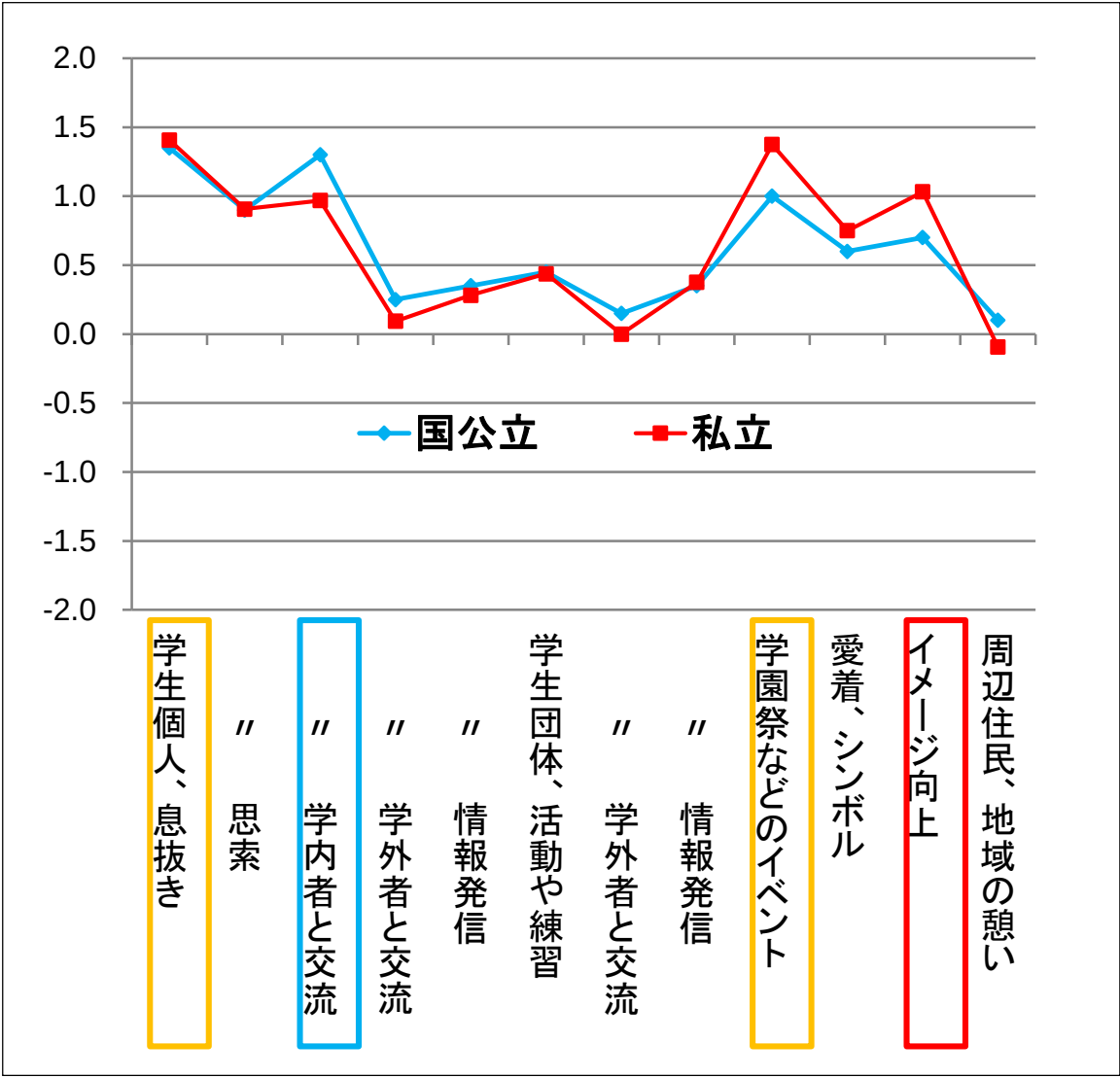
■OSの機能に対する意識(平均評価点)



2章 整備・管理実態の把握 オープンスペースの機能に対する意識

評価点 【とても重要(+2点)ー重要(+1点)ーどちらとも言えない(0点)ー重要でない(-1点)ー全く重要でない(-2点)】

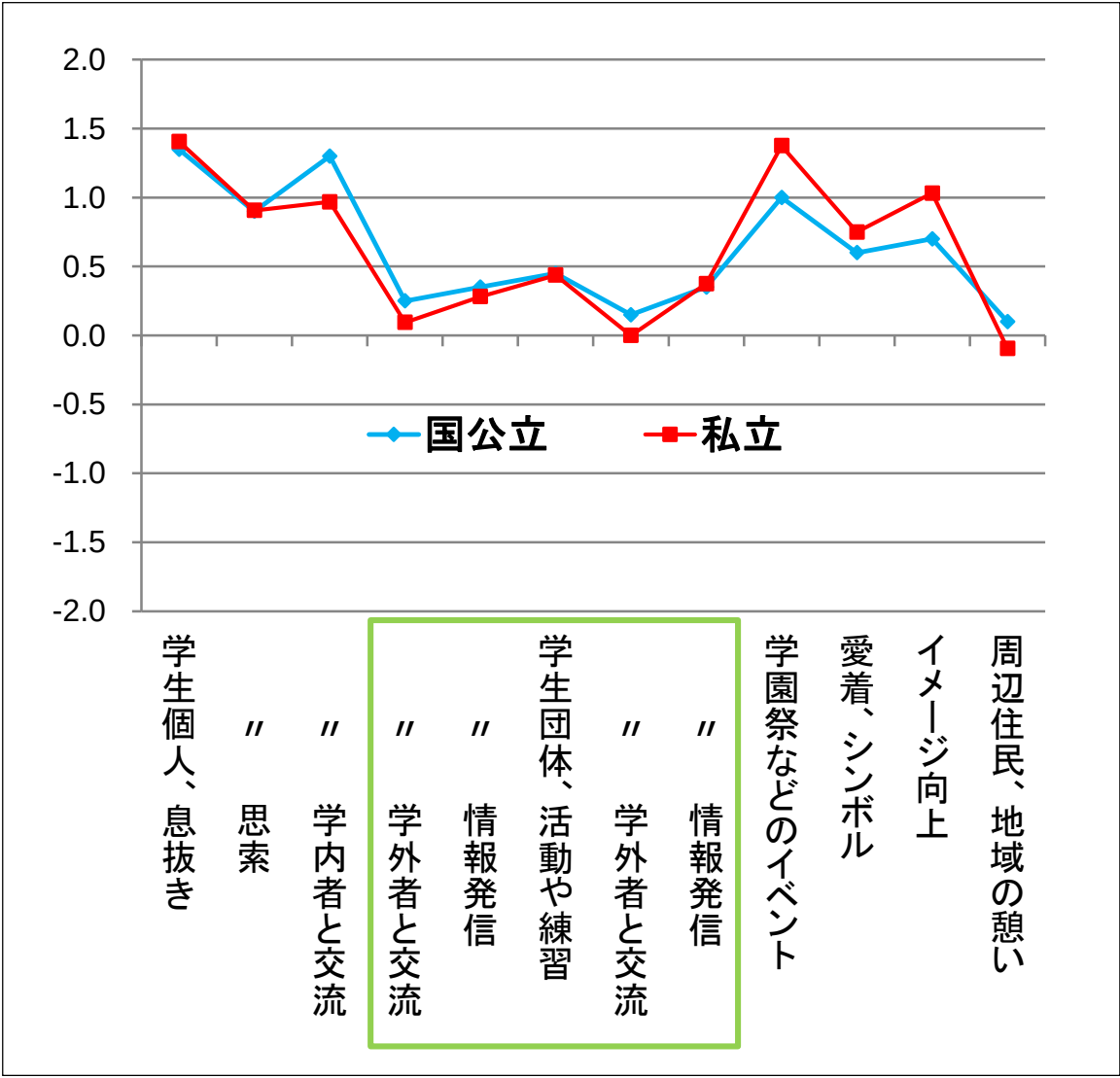
■OSの機能に対する意識(平均評価点)



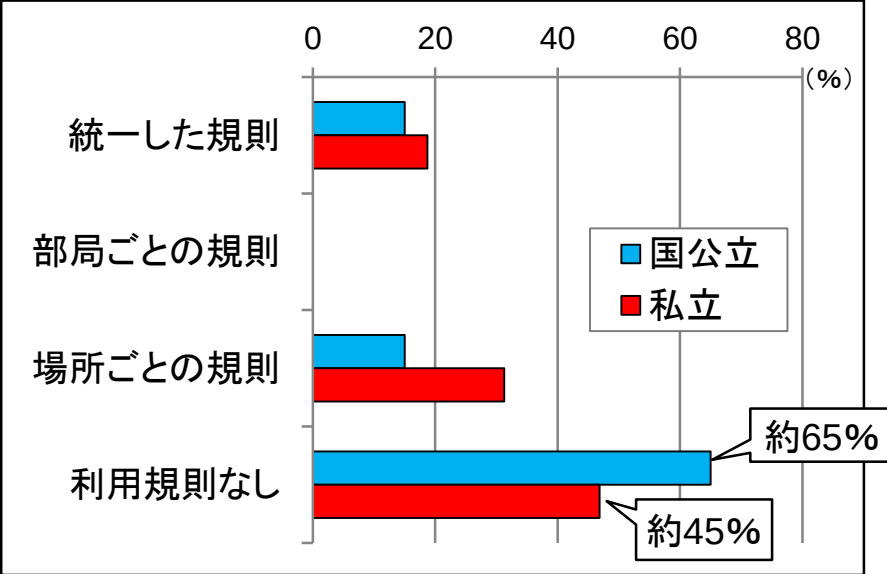
2章 整備・管理実態の把握 オープンスペースの機能に対する意識

評価点 【とても重要(+2点)ー重要(+1点)ーどちらとも言えない(0点)ー重要でない(-1点)ー全く重要でない(-2点)】

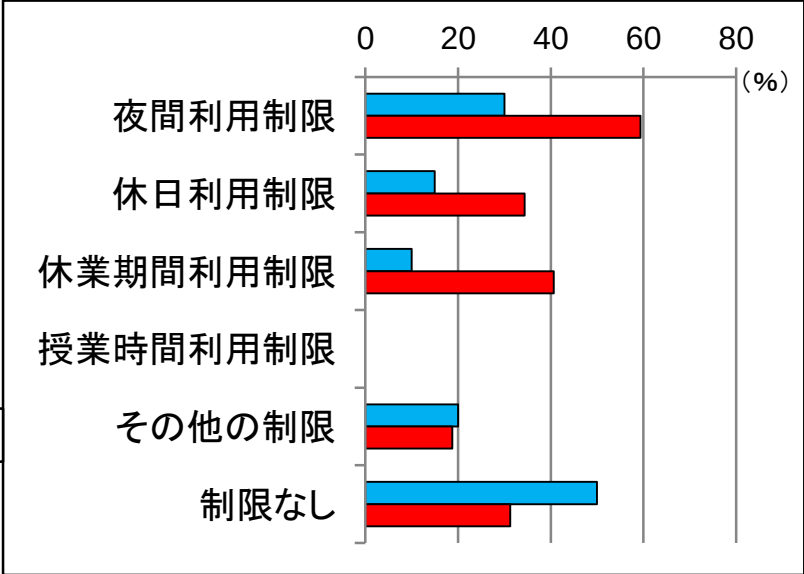
■OSの機能に対する意識(平均評価点)



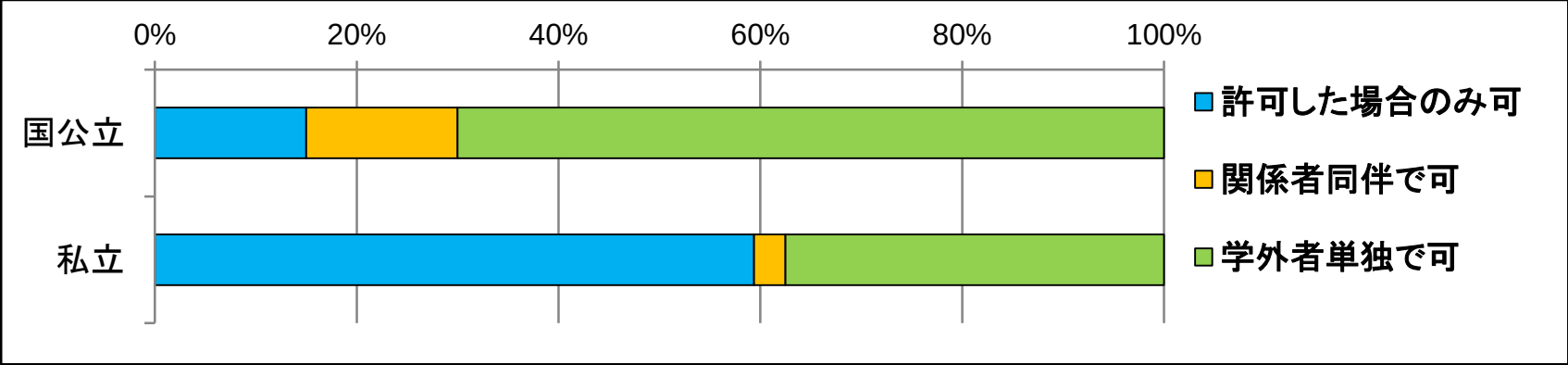
■ 利用規則の有無・種類



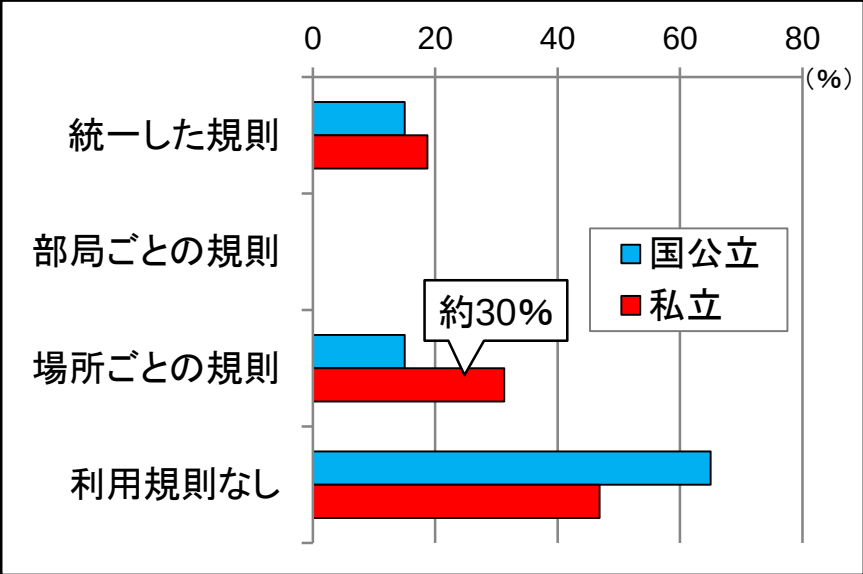
■ 日や時間帯による利用制限



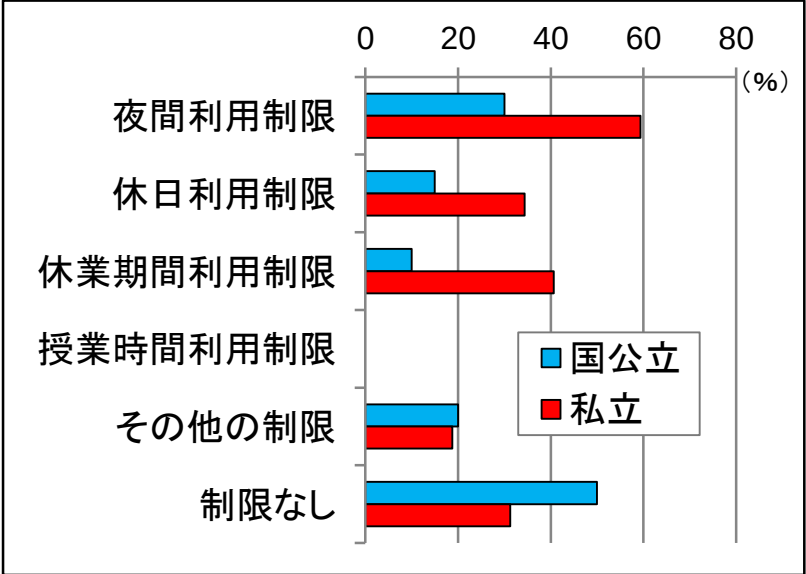
■ 学外者の利用制限



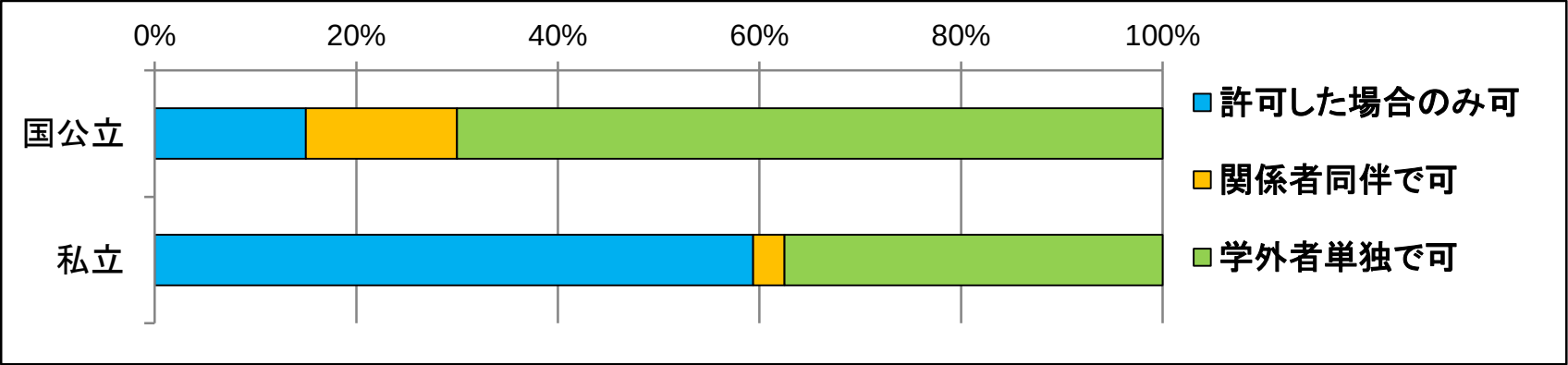
■ 利用規則の有無・種類



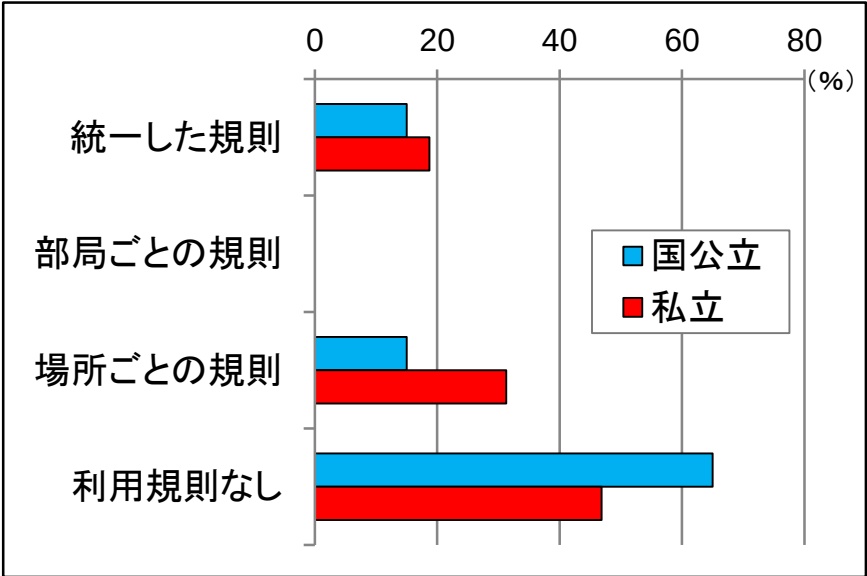
■ 日や時間帯による利用制限



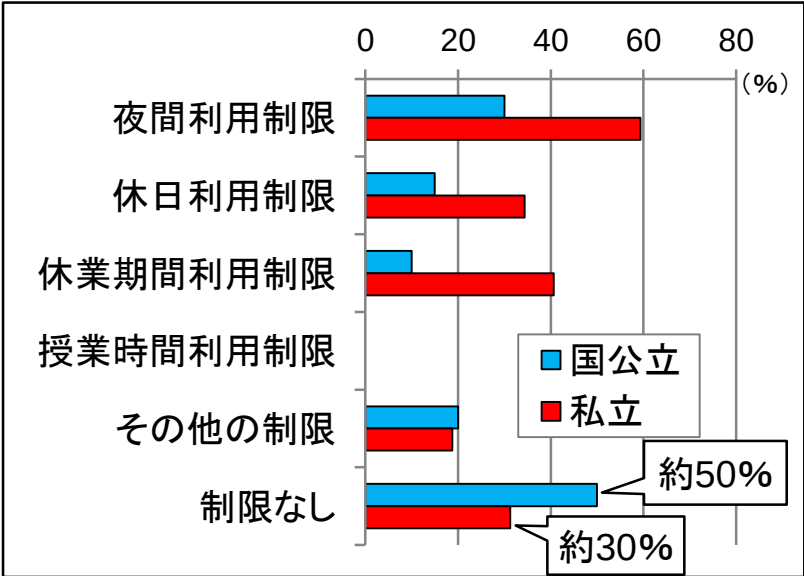
■ 学外者の利用制限



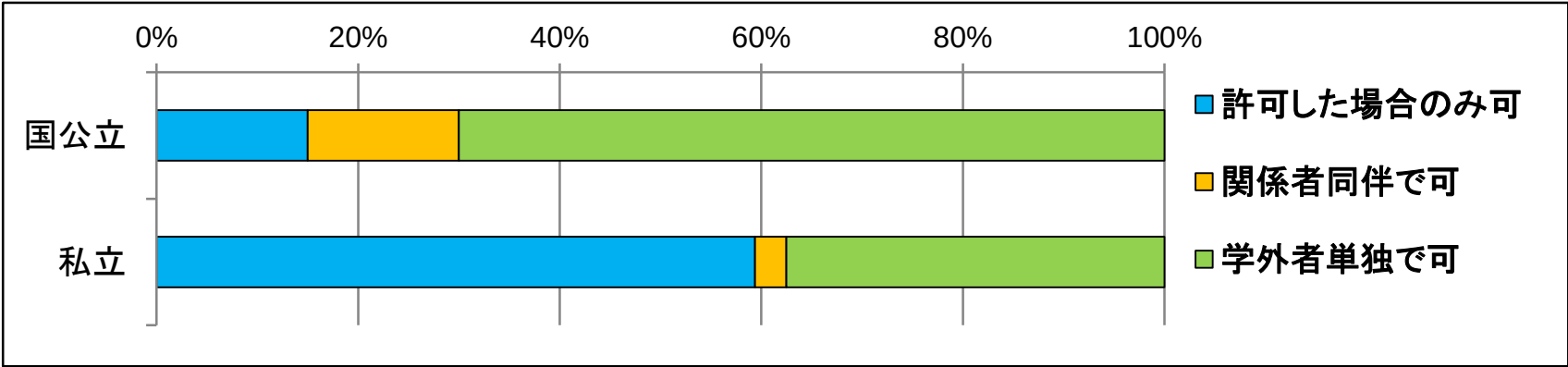
■ 利用規則の有無・種類



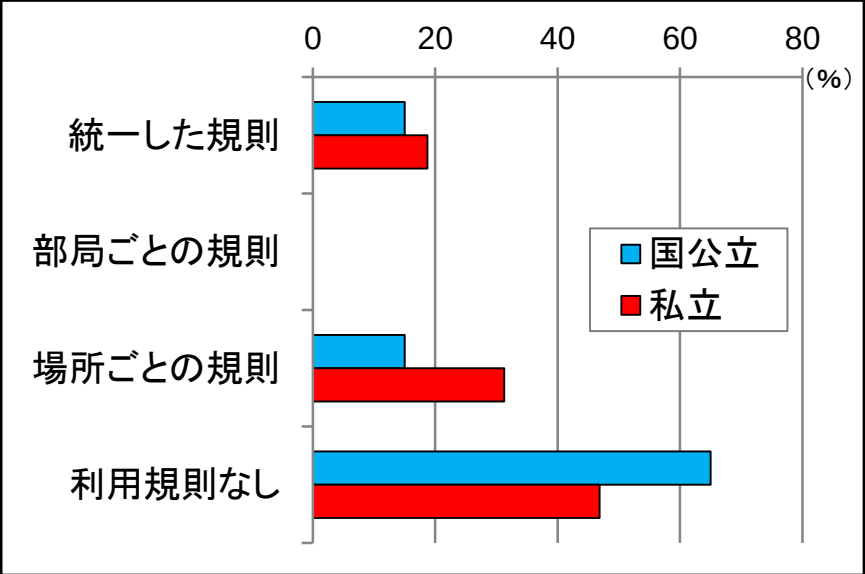
■ 日や時間帯による利用制限



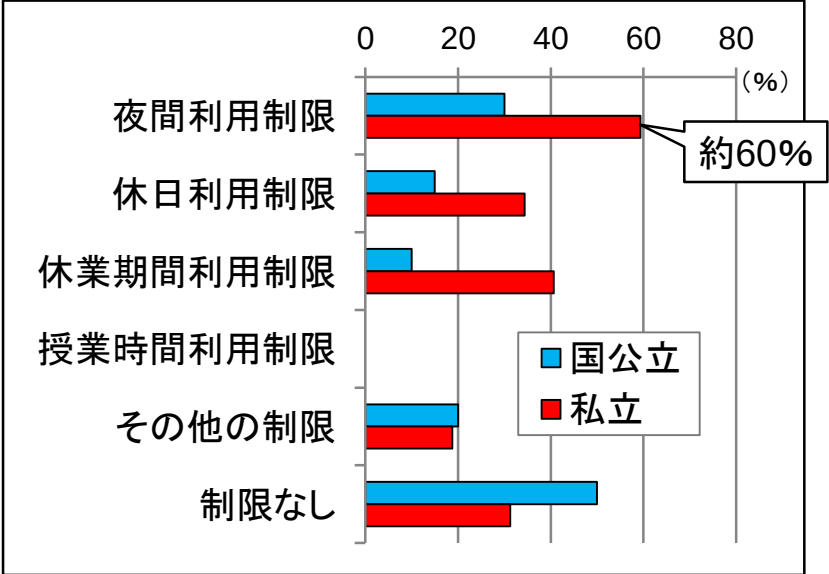
■ 学外者の利用制限



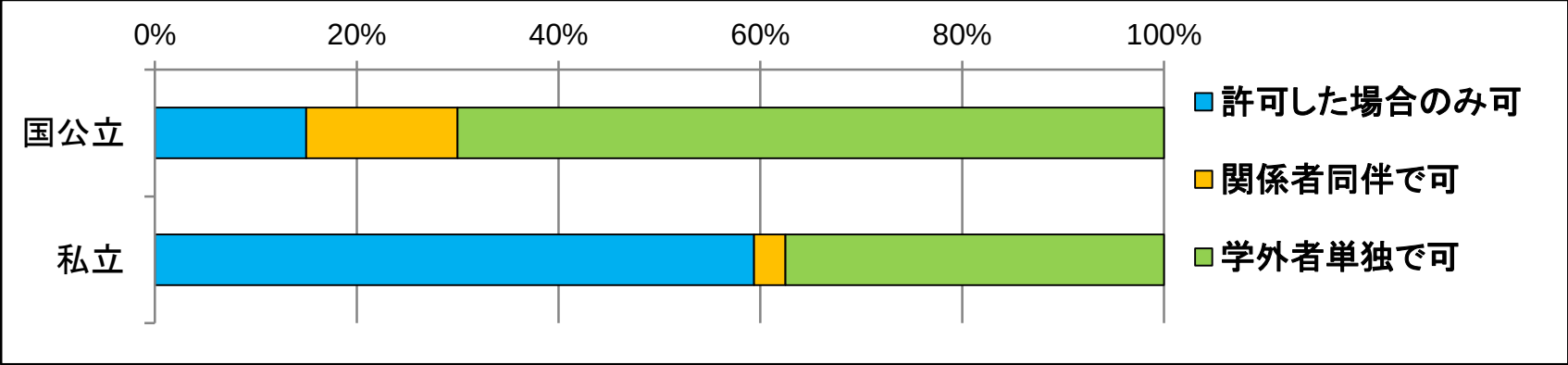
■ 利用規則の有無・種類



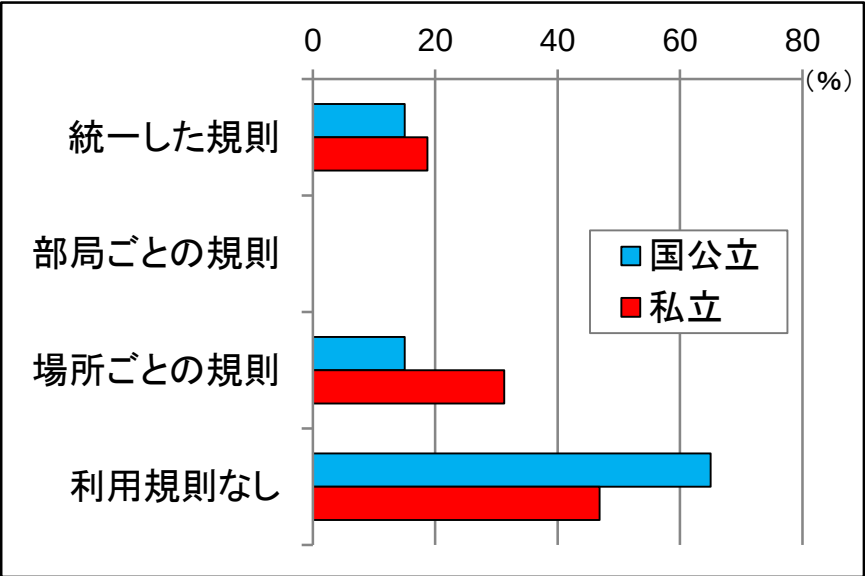
■ 日や時間帯による利用制限



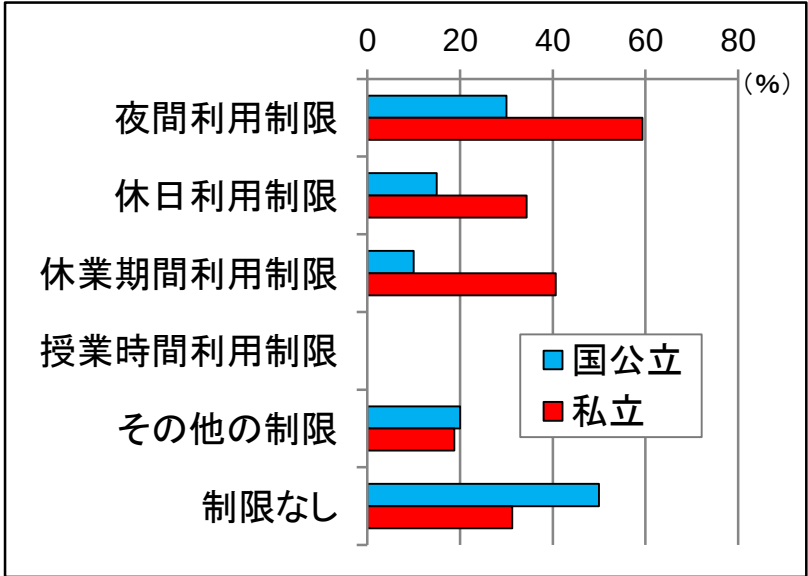
■ 学外者の利用制限



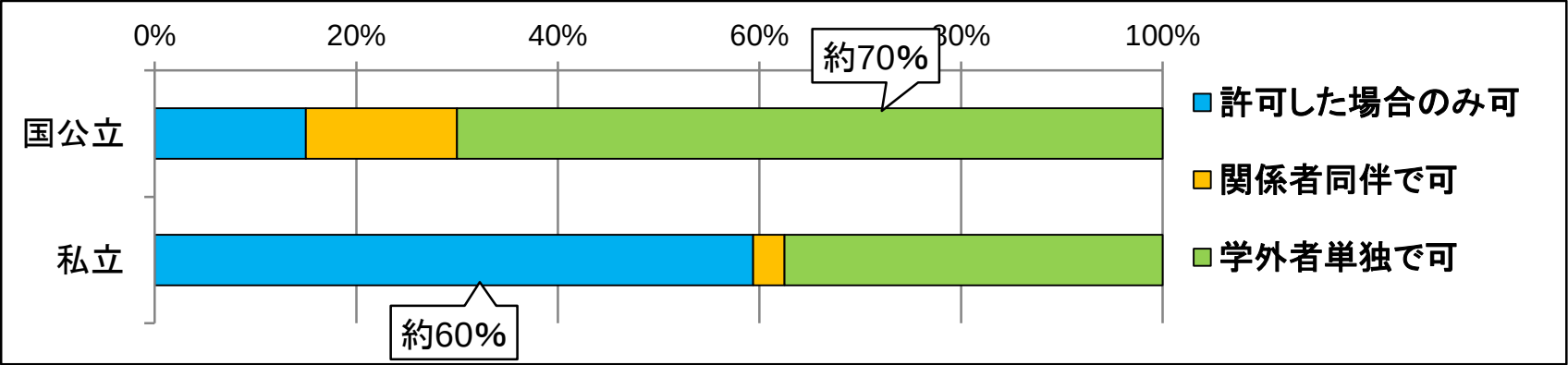
■ 利用規則の有無・種類



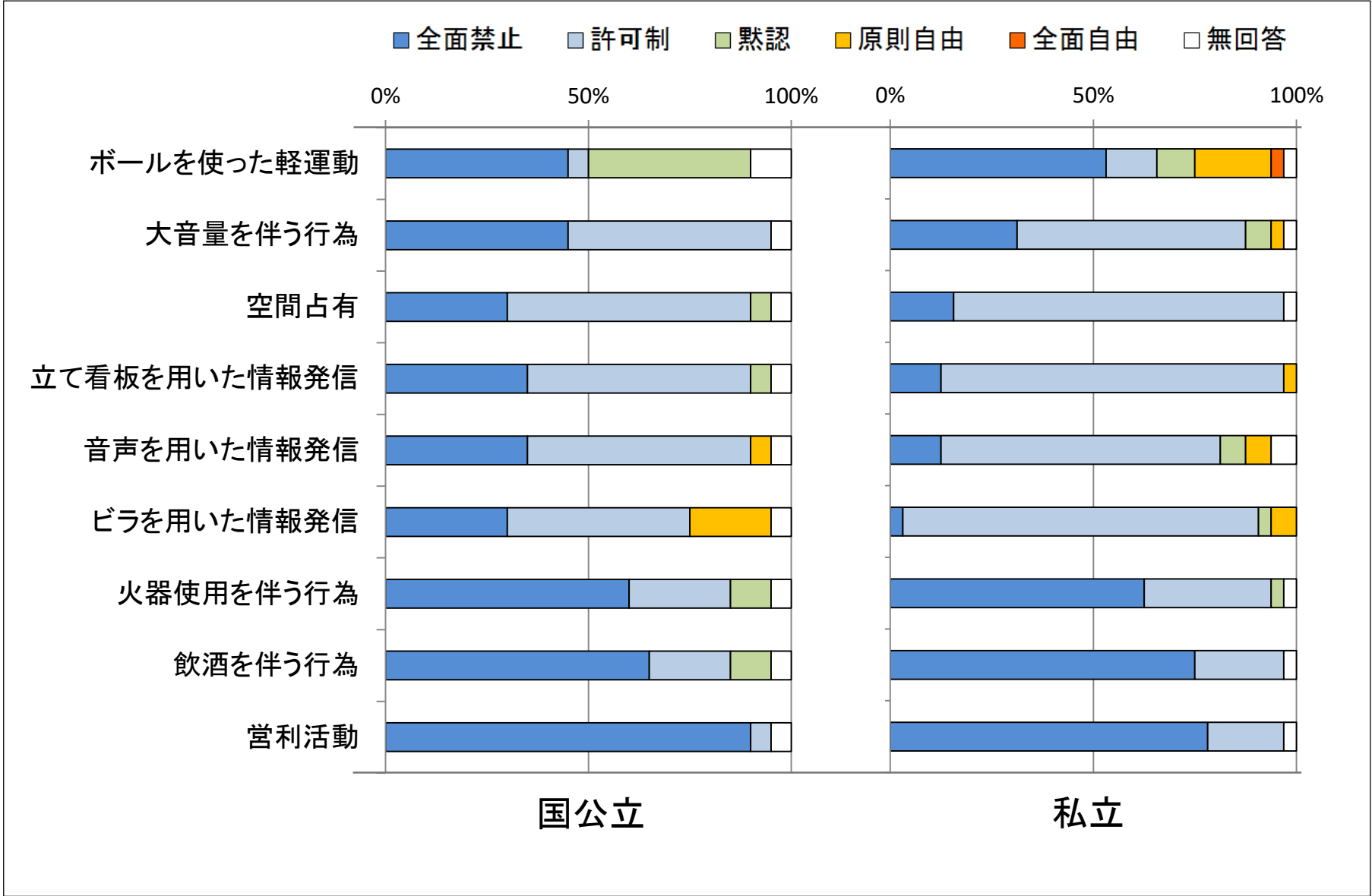
■ 日や時間帯による利用制限



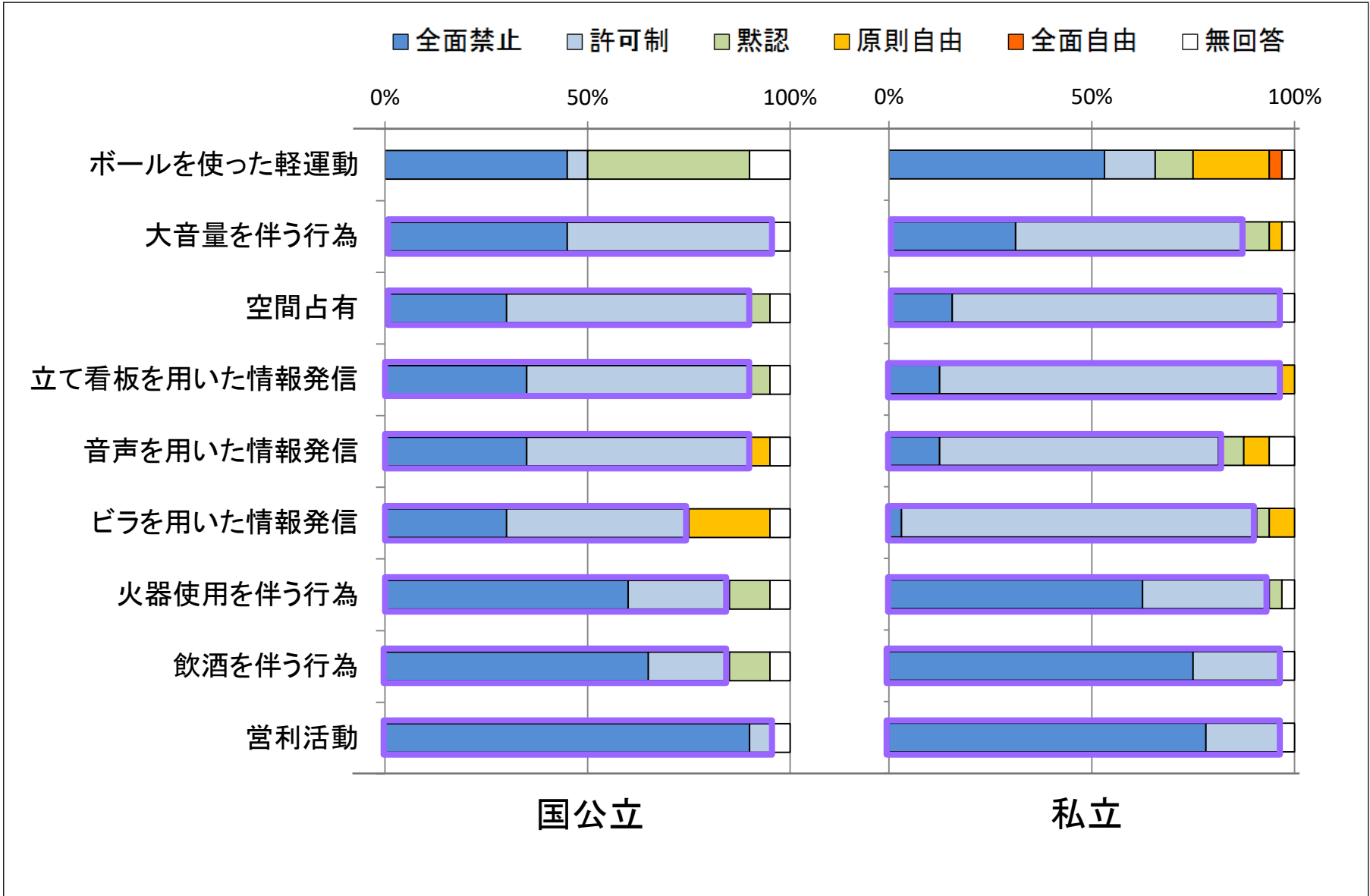
■ 学外者の利用制限



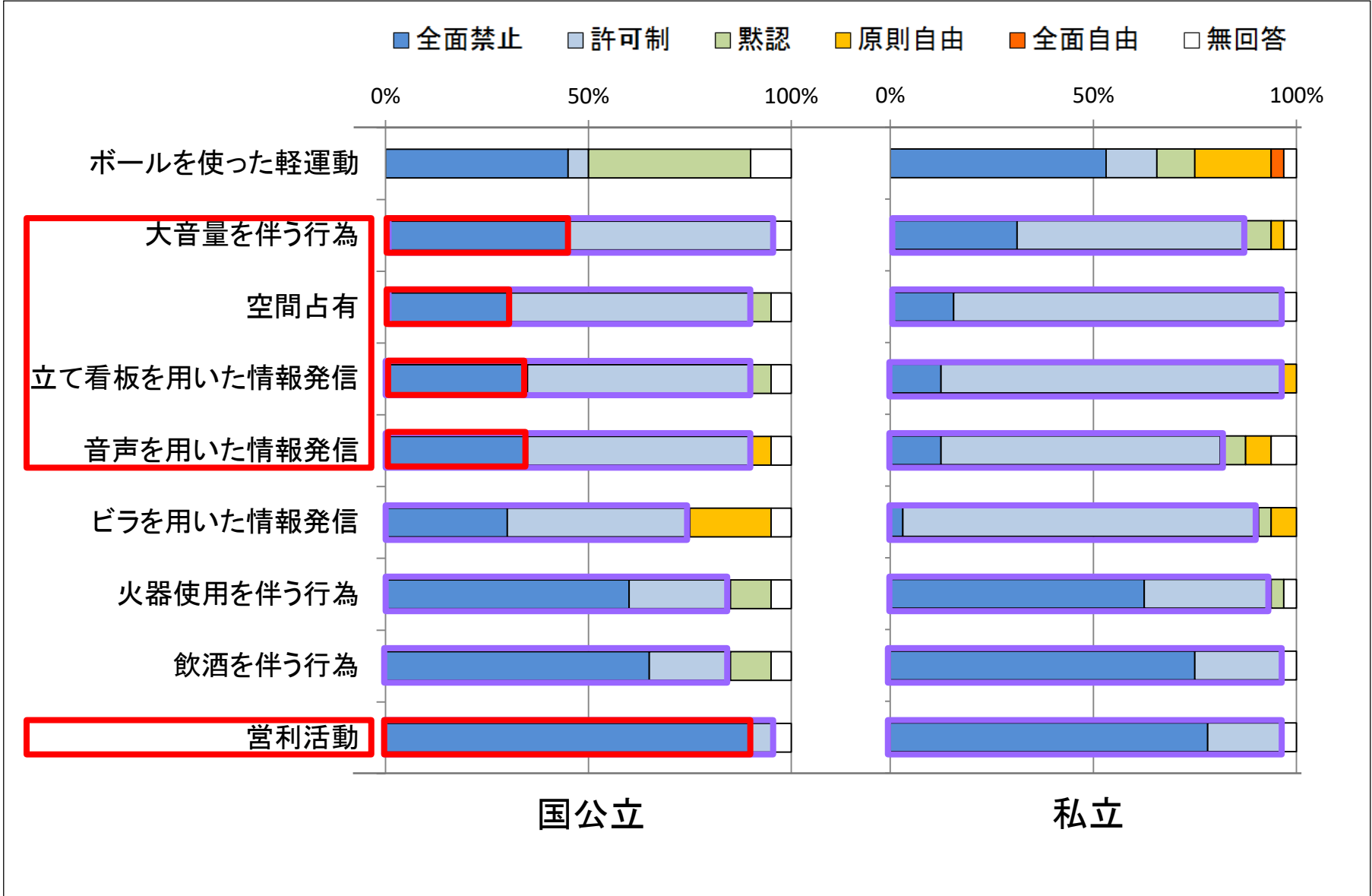
■ 行為規制



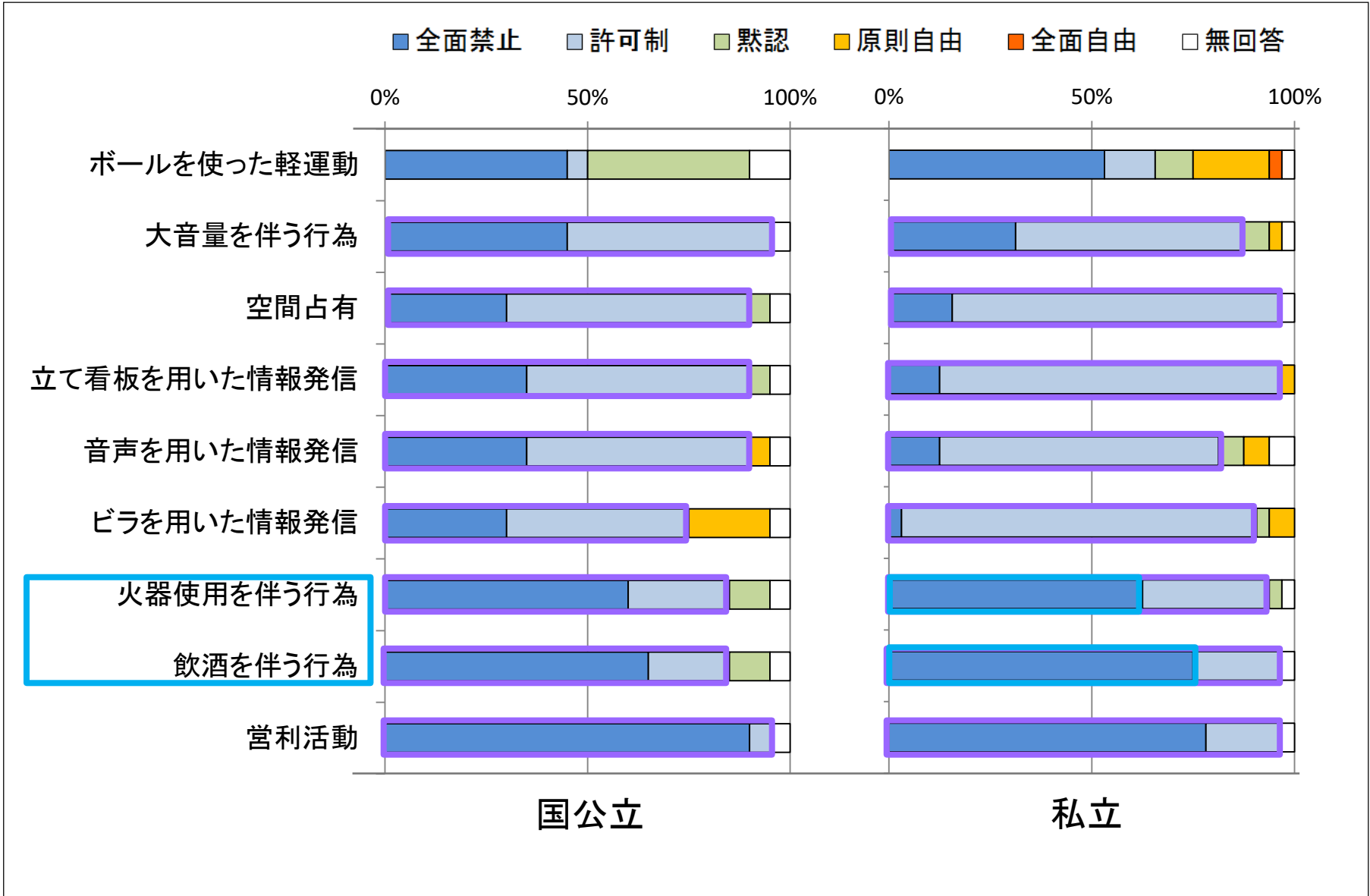
■ 行為規制



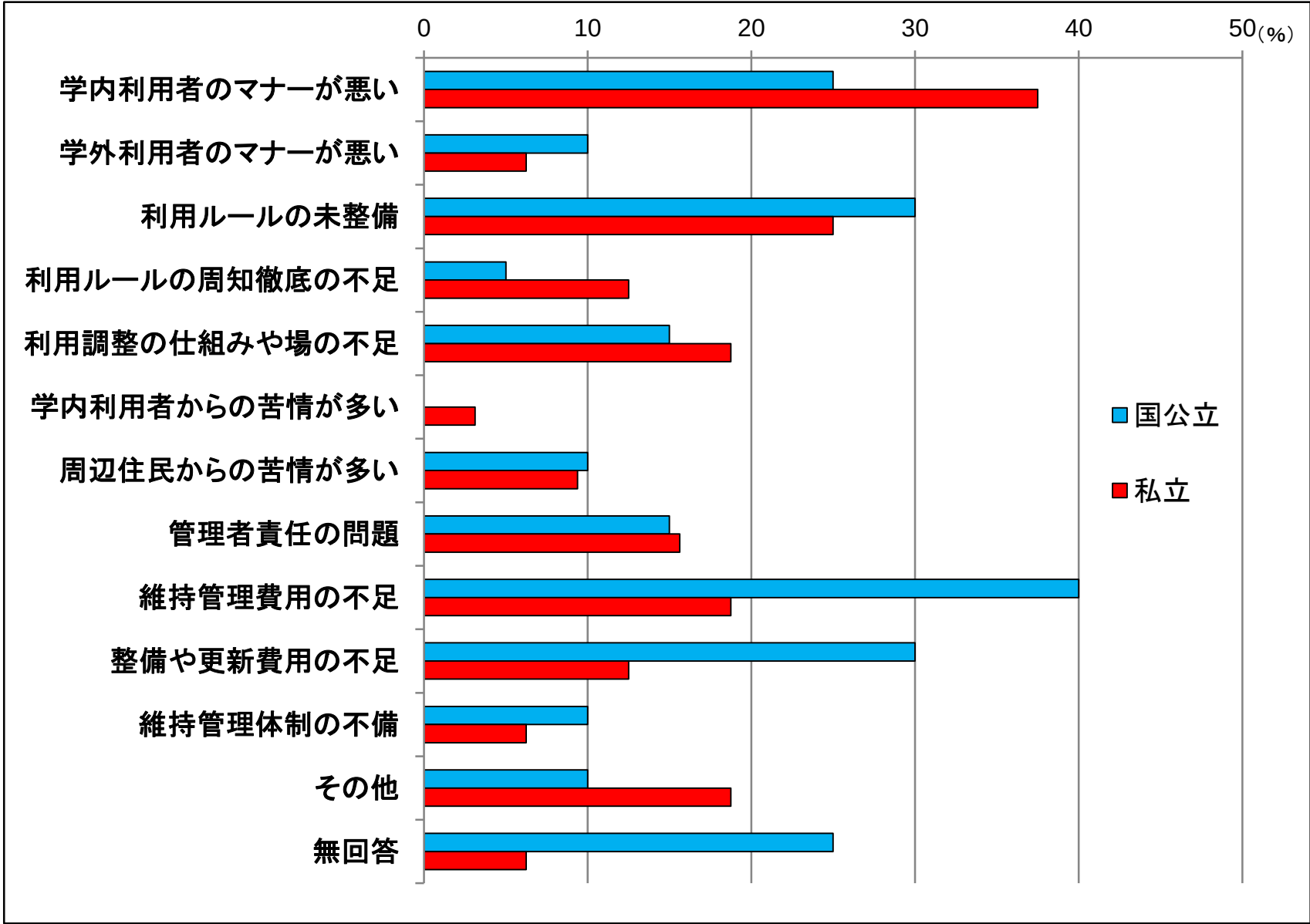
■ 行為規制



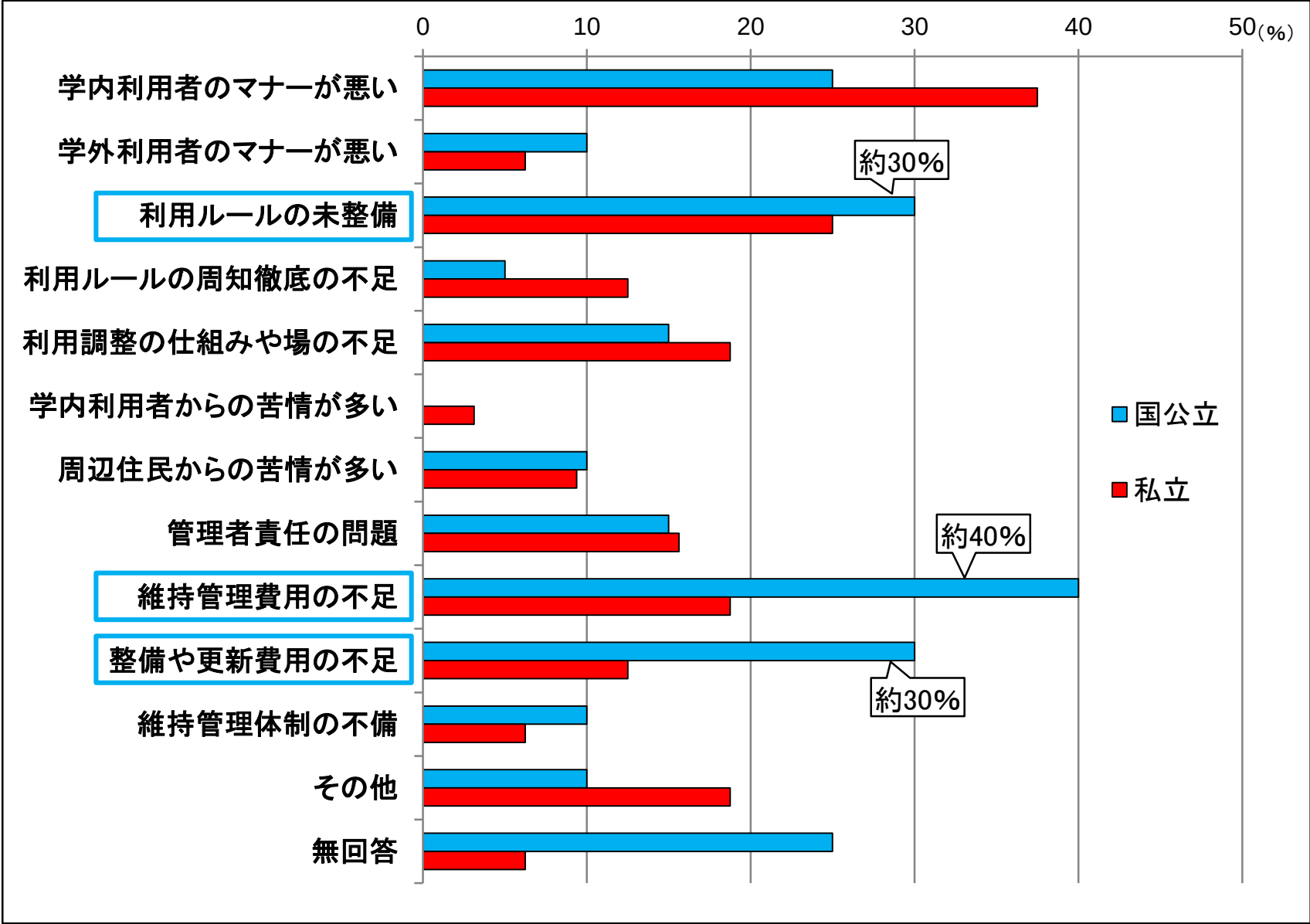
■ 行為規制

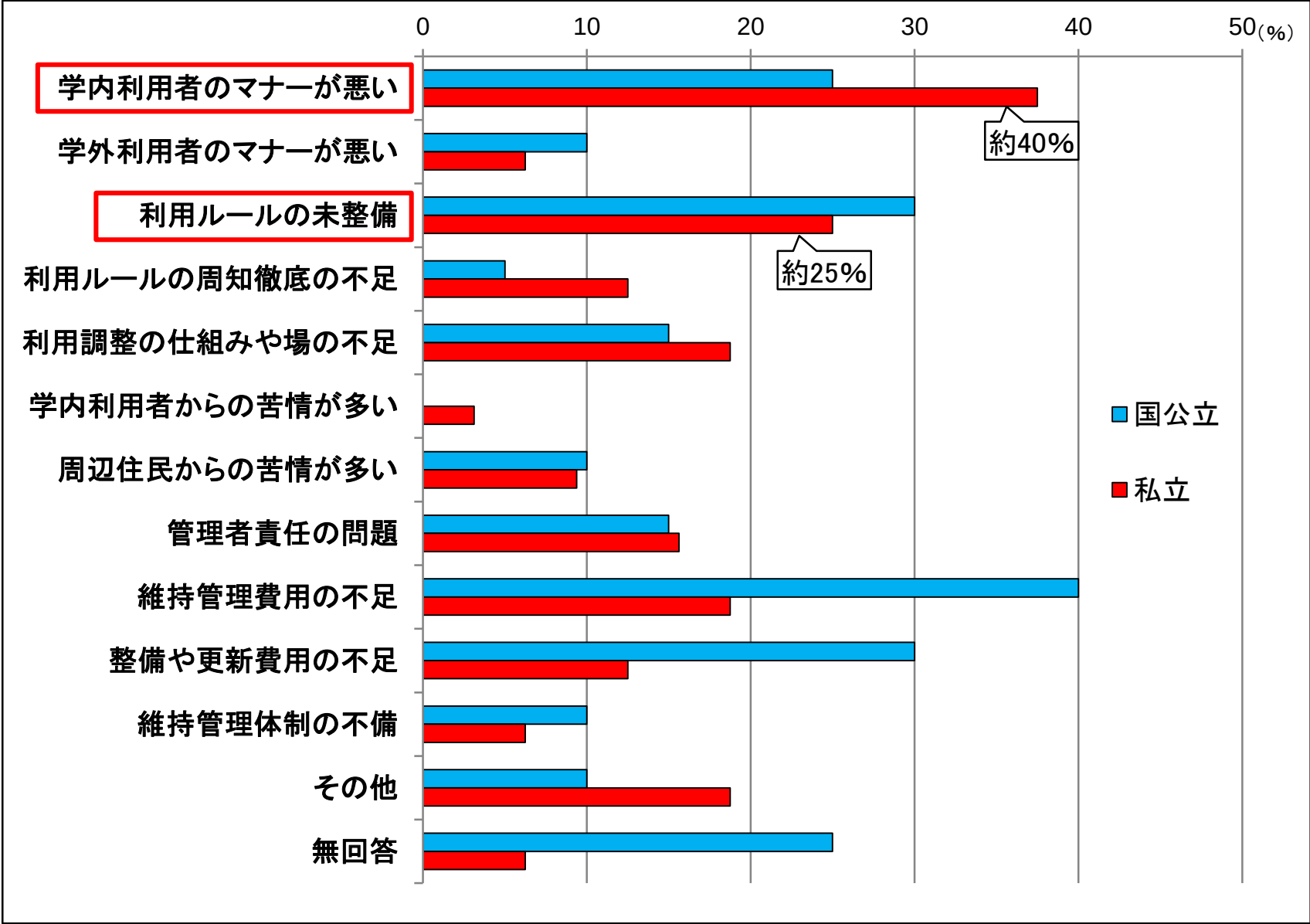


2章 整備・管理実態の把握 管理上の課題



2章 整備・管理実態の把握 管理上の課題

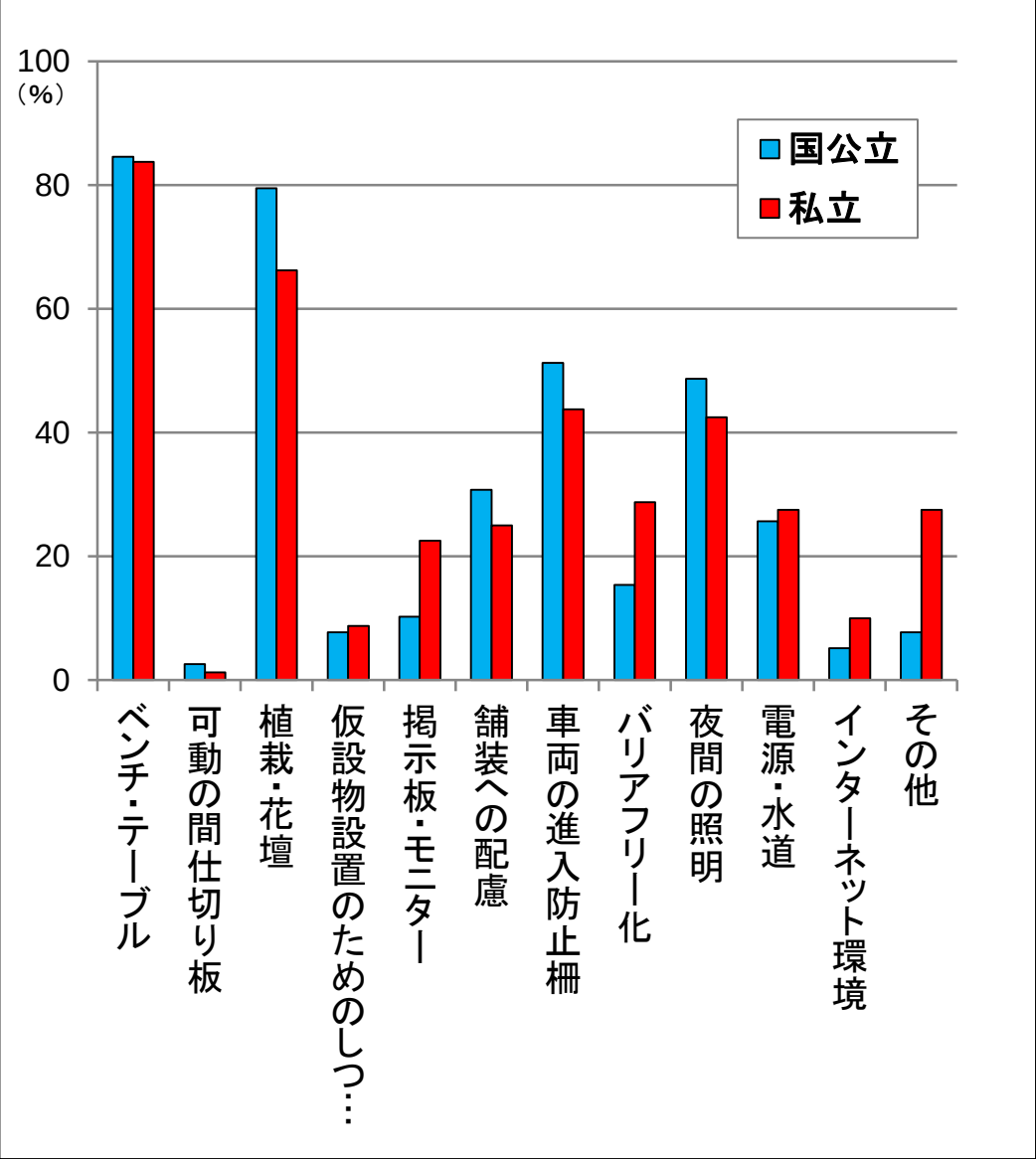




■ 拠点広場の整備状況

	国公立	私立
1キャンパスあたりの 拠点広場数(箇所)	1.95	2.22
1拠点広場あたりの 装置種類数(種類)	3.69	3.98

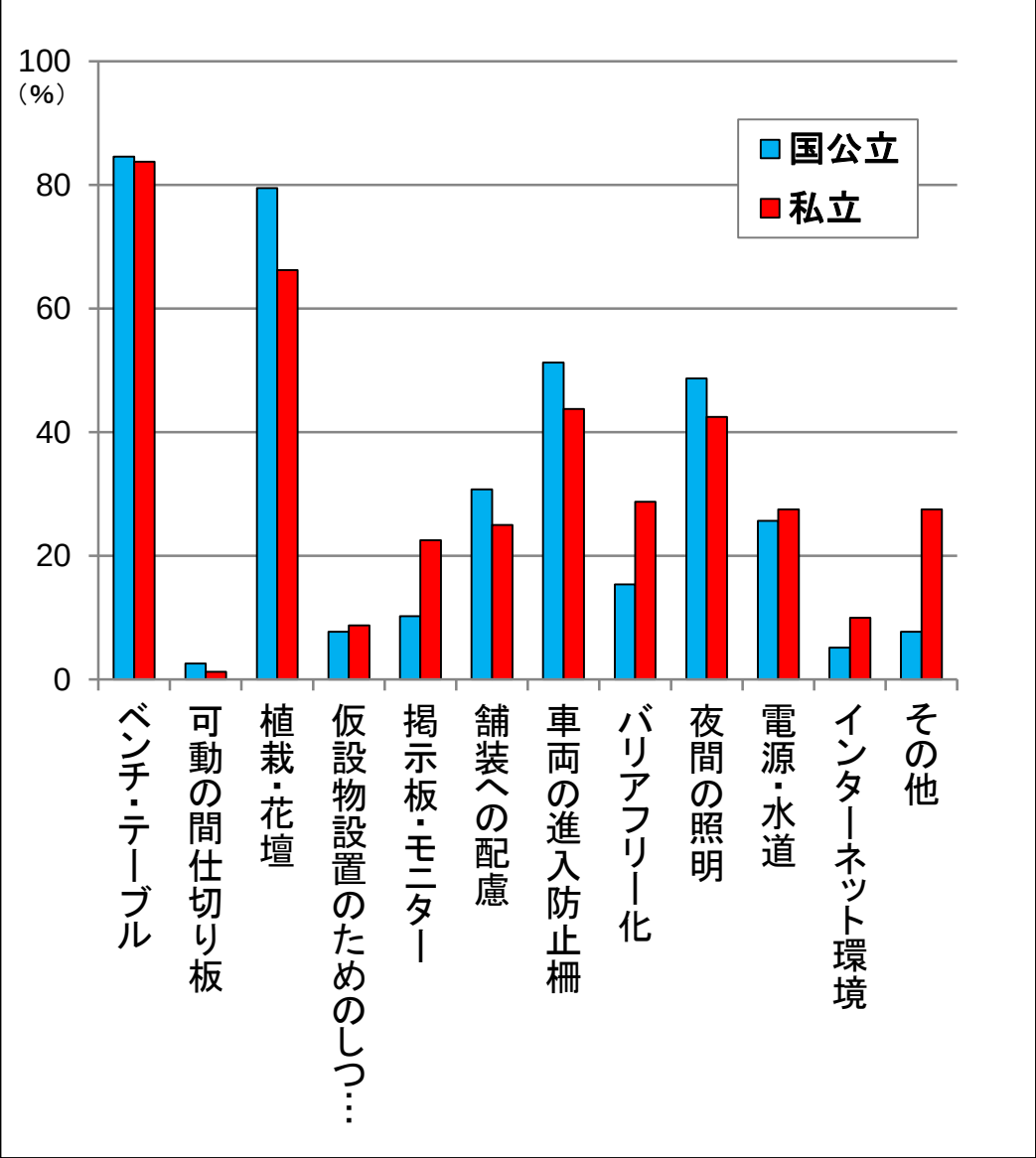
■ 拠点広場に設置されている装置



■ 拠点広場の整備状況

	国公立	私立
1キャンパスあたりの 拠点広場数(箇所)	1.95	2.22
1拠点広場あたりの 装置種類数(種類)	3.69	3.98

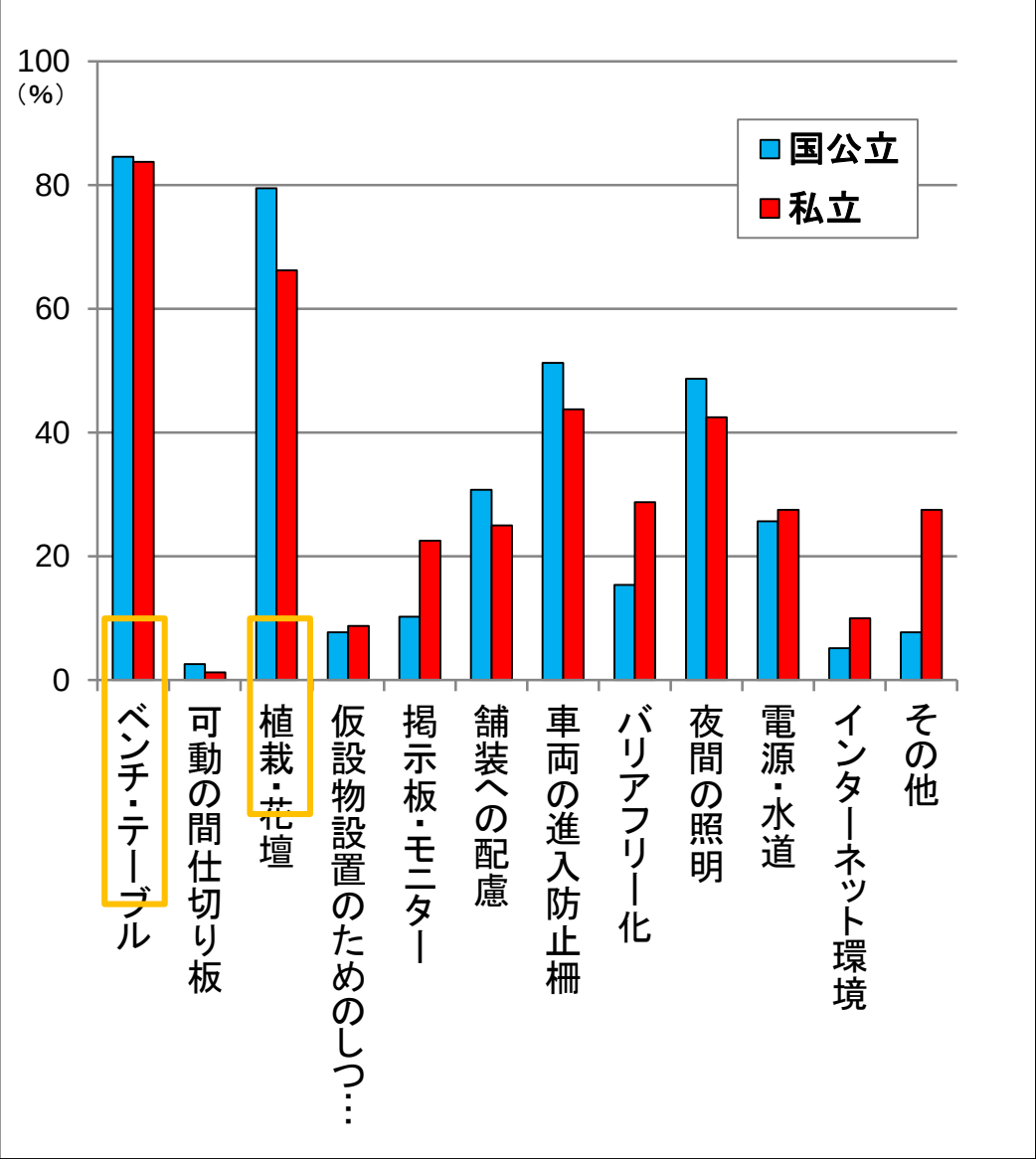
■ 拠点広場に設置されている装置



■ 拠点広場の整備状況

	国公立	私立
1キャンパスあたりの 拠点広場数(箇所)	1.95	2.22
1拠点広場あたりの 装置種類数(種類)	3.69	3.98

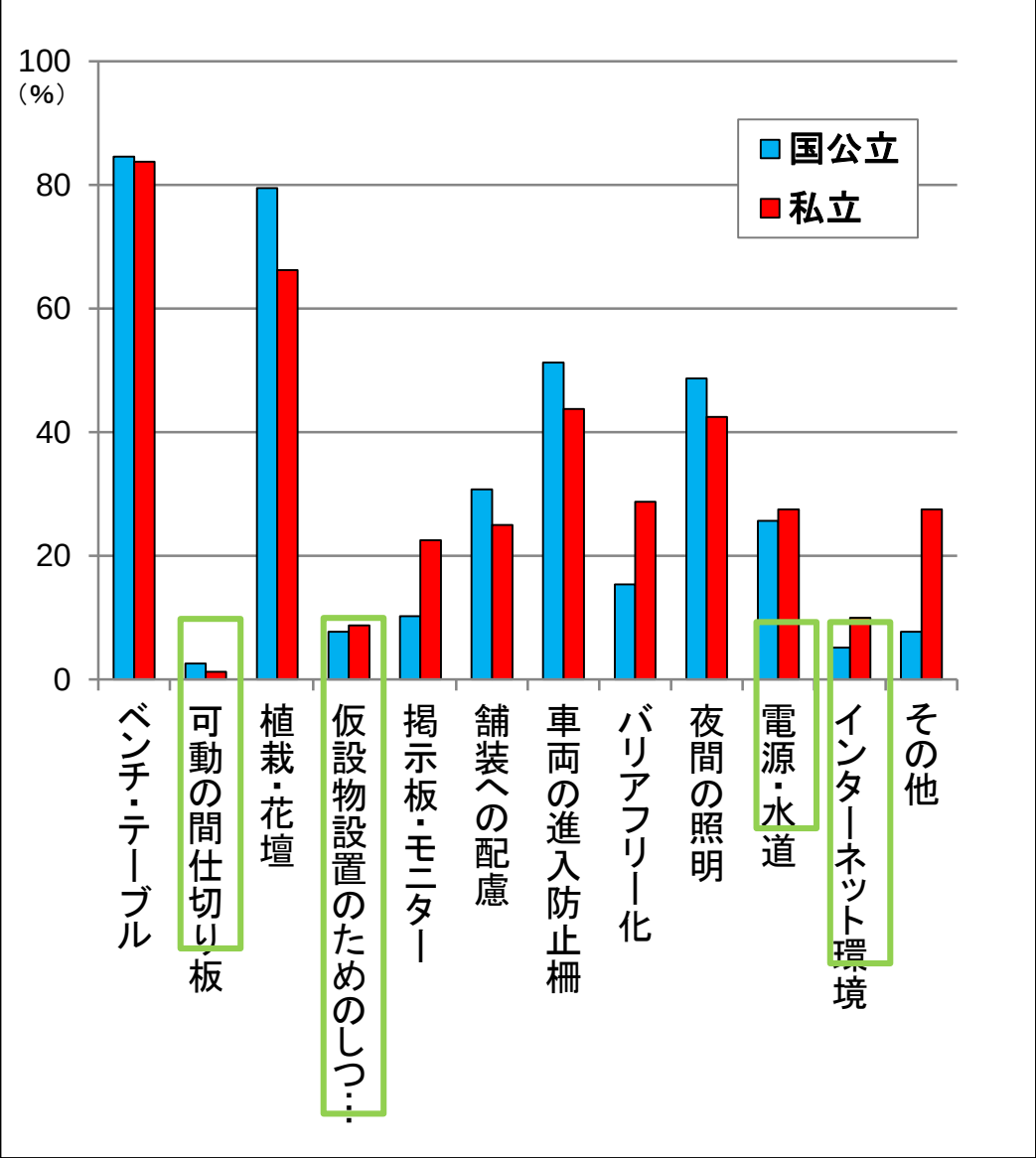
■ 拠点広場に設置されている装置



■ 拠点広場の整備状況

	国公立	私立
1キャンパスあたりの 拠点広場数(箇所)	1.95	2.22
1拠点広場あたりの 装置種類数(種類)	3.69	3.98

■ 拠点広場に設置されている装置



■調査対象地

①整備・管理実態調査のアンケート

交流関連の機能項目(6項目)

- 1. 学生個人、学内者と交流
- 2. "、学外者と交流
- 3. "、情報発信
- 4. 学生団体、活動や練習
- 5. "、学外者と交流
- 6. "、情報発信

全てで「重要」または「とても重要」と回答

②調査協力の得られたキャンパスの拠点広場



国公立大学2キャンパス4拠点広場
Aキャンパス:A1拠点広場、A2拠点広場
Bキャンパス:B1拠点広場、B2拠点広場

■調査方法

4拠点広場の利用実態の把握
Aキャンパス(A1・A2拠点広場)
Bキャンパス(B1・B2拠点広場)

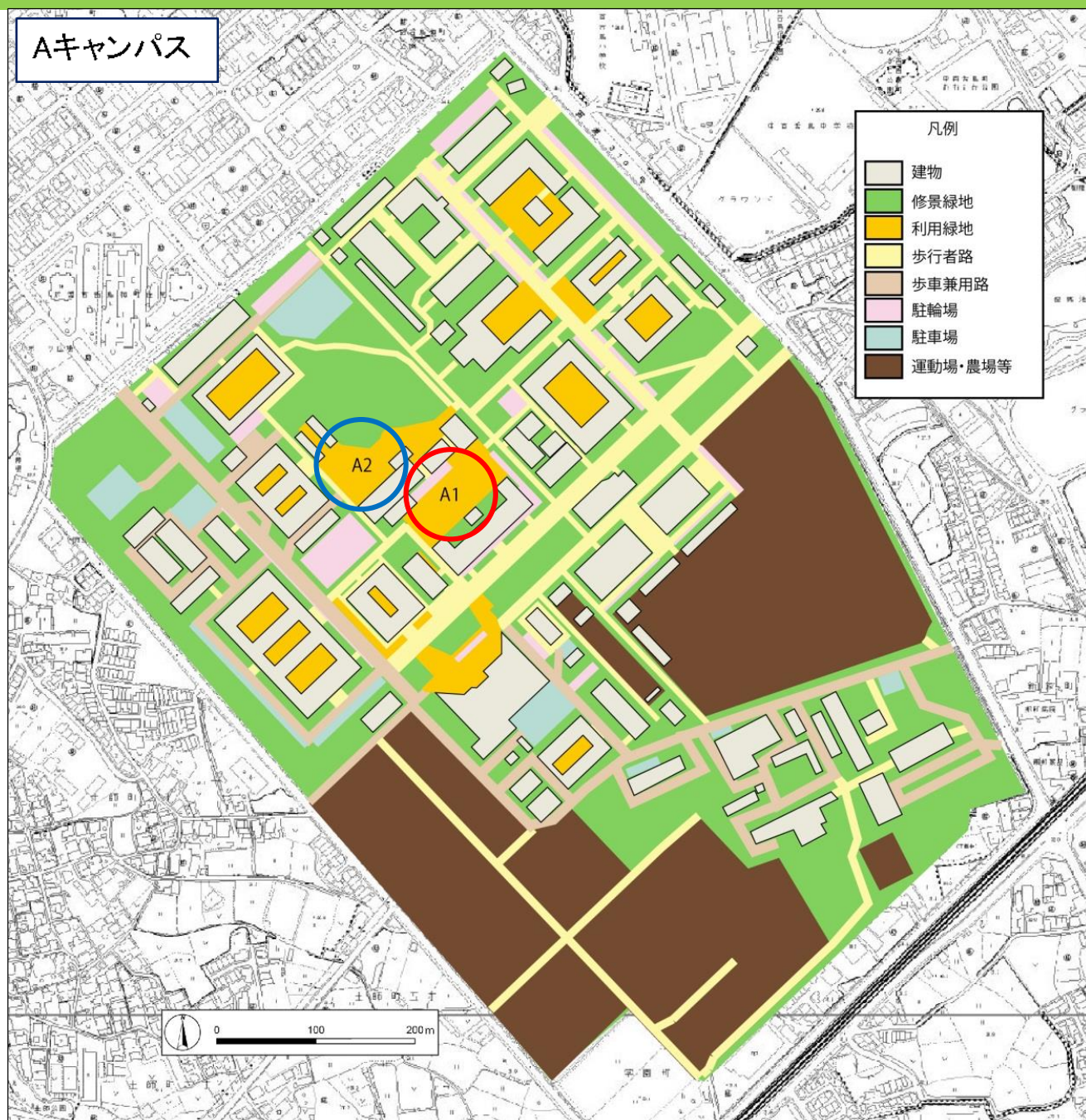
①空間特性の把握
・現地調査
・ヒアリング調査
(施設管理者対象)

■調査項目
・土地利用
・隣接施設の機能
・装置
・行為規制

②利用実態の把握
・アンケート調査
(学生対象)

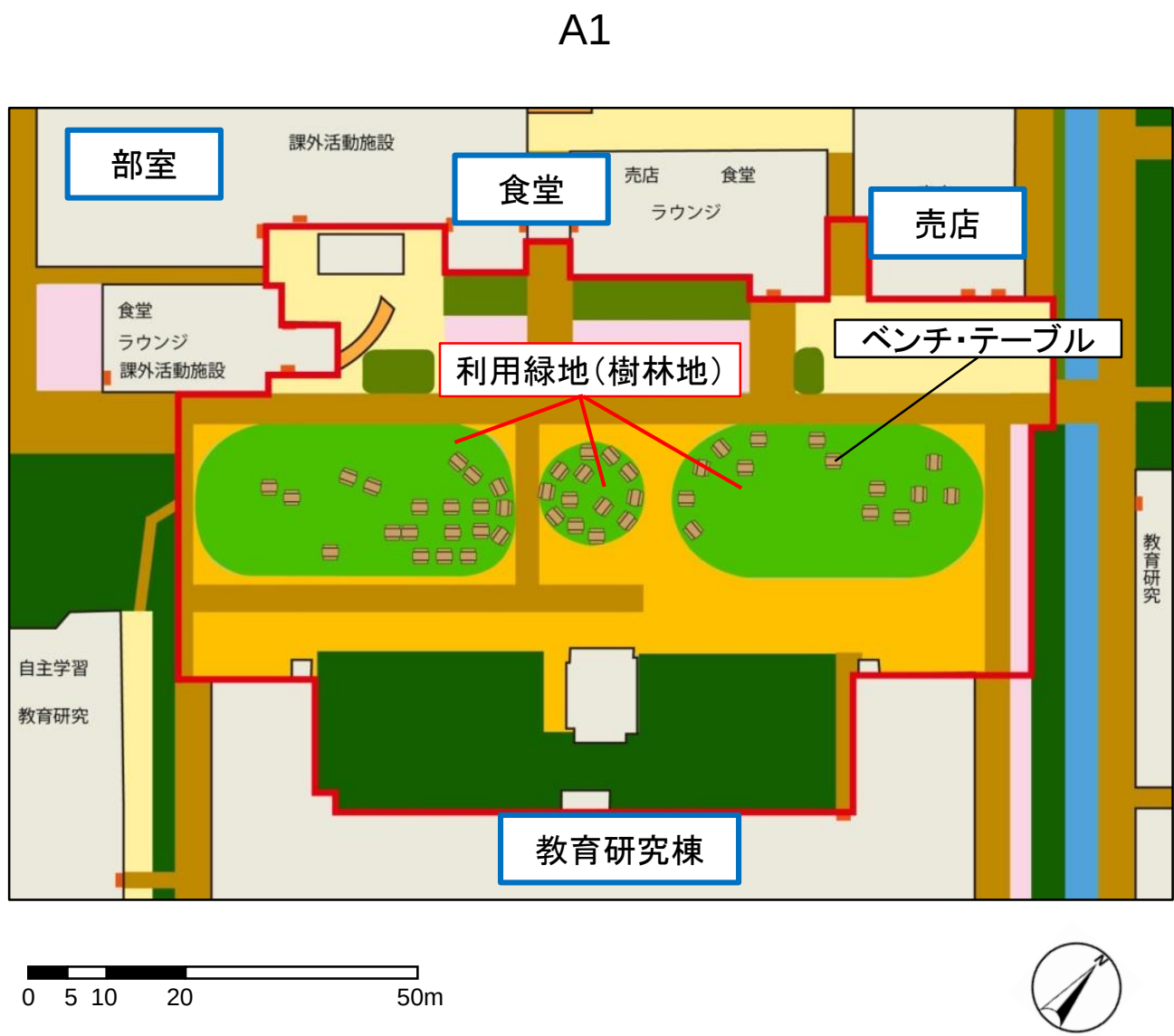
■調査項目
・機能意識
・団体利用
・個人利用
・充実改善希望

	Aキャンパス		Bキャンパス	
	A1	A2	B1	B2
現地調査実施日	2012年11月		2012年11月	
ヒアリング実施日	2012年12月		2012年11月	
アンケート実施日	2012年 10～11月	2012年 10～11月	2012年 11月	2012年 11月
有効回答数	115	111	109	108

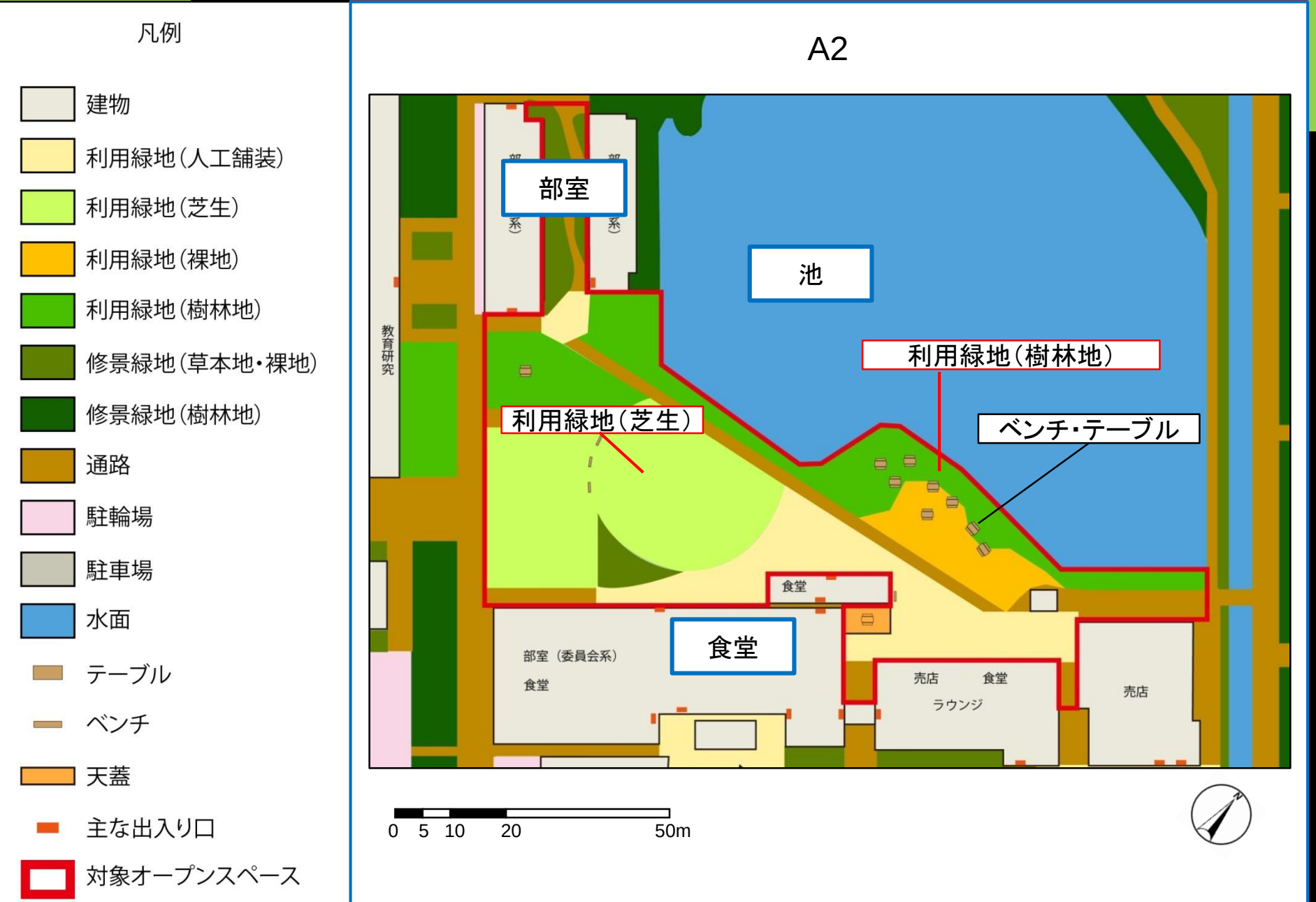


3章 利用実態の把握(拠点広場) 空間特性(A1・A2)

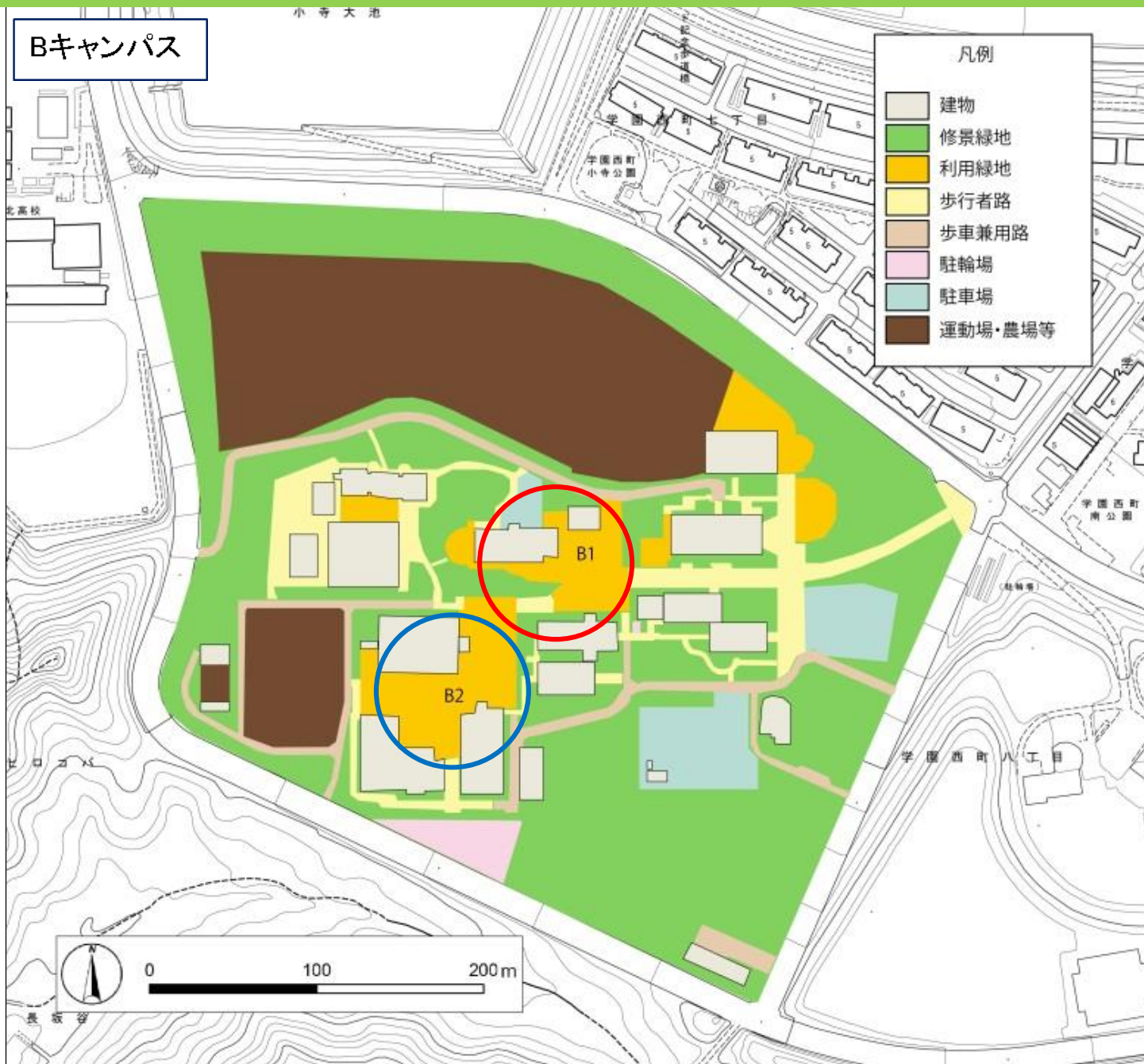
- 凡例
- 建物
 - 利用緑地(人工舗装)
 - 利用緑地(芝生)
 - 利用緑地(裸地)
 - 利用緑地(樹林地)
 - 修景緑地(草本地・裸地)
 - 修景緑地(樹林地)
 - 通路
 - 駐輪場
 - 駐車場
 - 水面
 - テーブル
 - ベンチ
 - 天蓋
 - 主な出入り口
 - 対象オープンスペース



3章 利用実態の把握(拠点広場) 空間特性(A1・A2)



3章 利用実態の把握(拠点広場) 空間特性(B1・B2)

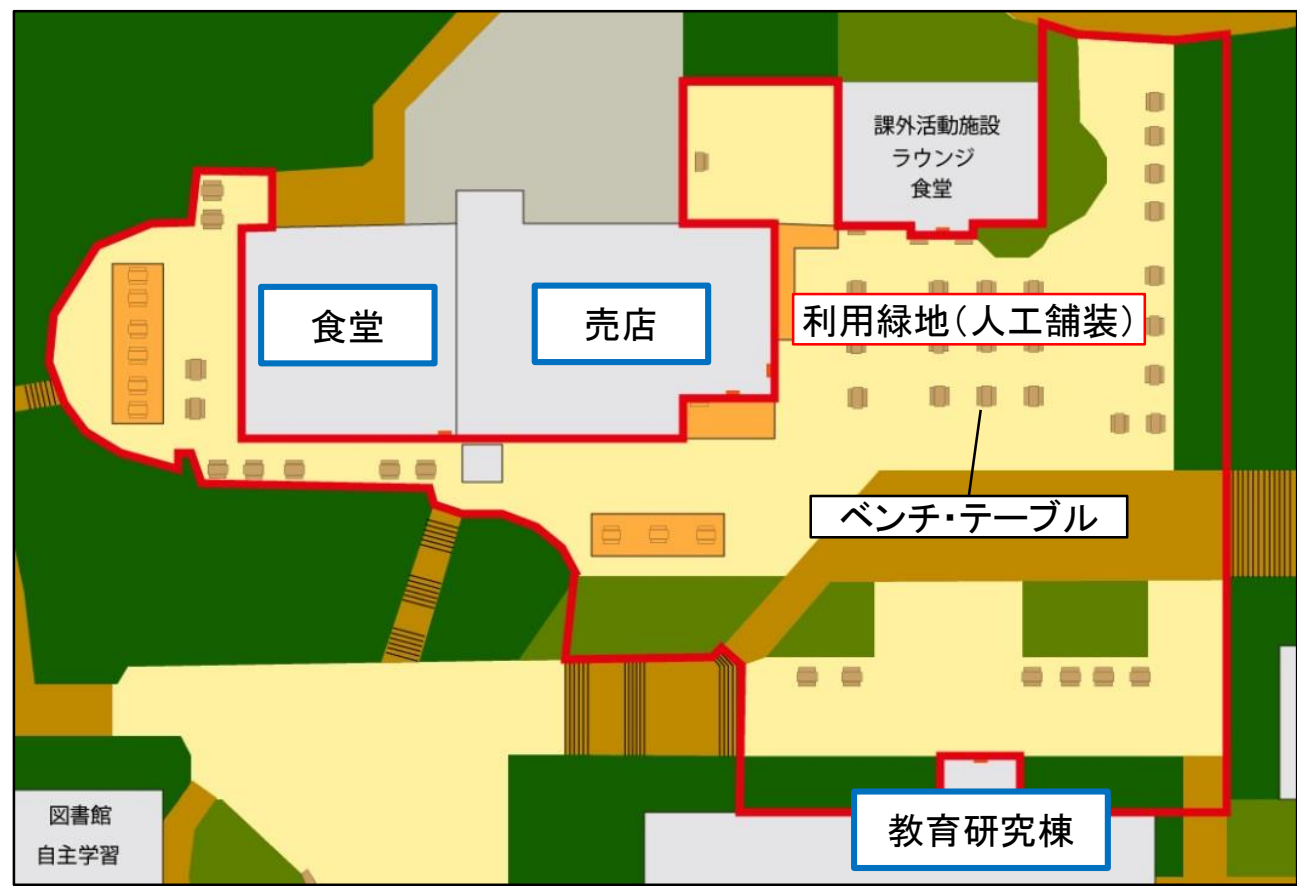


3章 利用実態の把握(拠点広場) 空間特性(B1・B2)

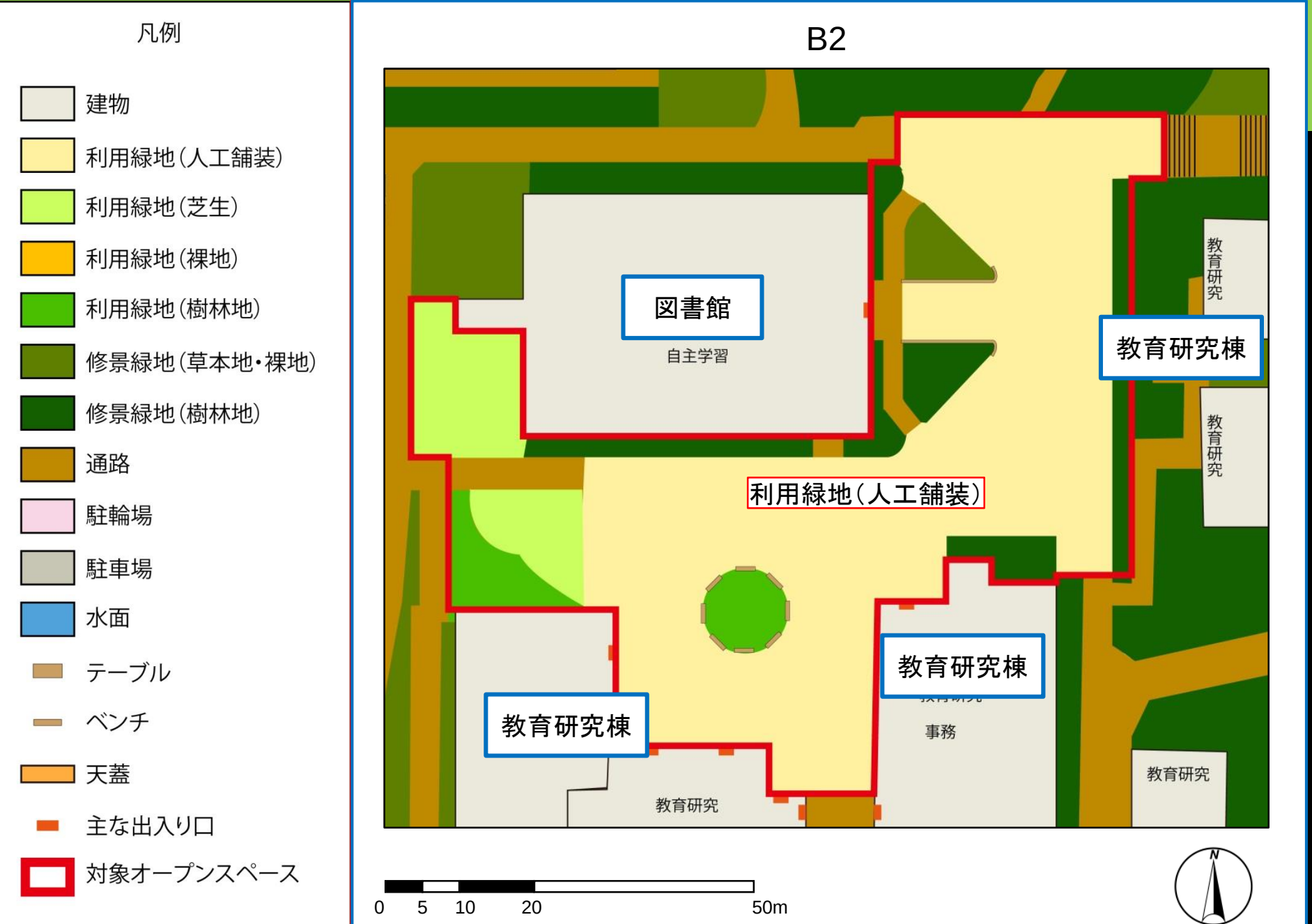
凡例

- 建物
- 利用緑地(人工舗装)
- 利用緑地(芝生)
- 利用緑地(裸地)
- 利用緑地(樹林地)
- 修景緑地(草本地・裸地)
- 修景緑地(樹林地)
- 通路
- 駐輪場
- 駐車場
- 水面
- テーブル
- ベンチ
- 天蓋
- 主な出入り口
- 対象オープンスペース

B1



3章 利用実態の把握(拠点広場) 空間特性(B1・B2)

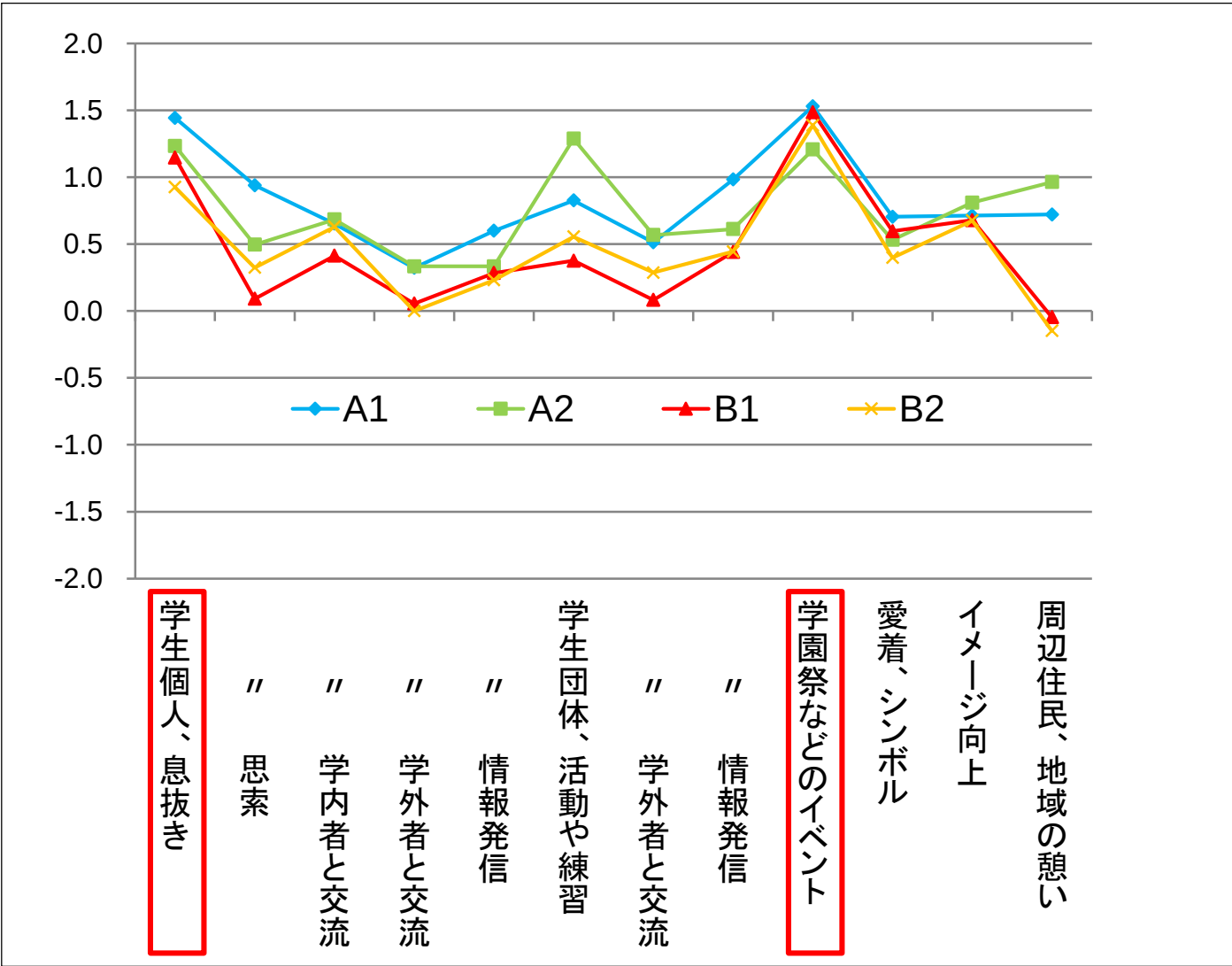


■ 行為規制

行為内容	規制状況	
	A1・A2	B1・B2
ボールの使用	原則自由	原則自由
大音量を伴う行為	許可制	原則自由／ 許可制
空間占有		
立て看板を用いた 情報発信		
音声を用いた 情報発信		
ビラを用いた 情報発信		
火器使用を伴う行為	原則禁止	全面禁止
飲酒を伴う行為		
営利活動		
喫煙		
夜間の利用	原則自由／ 許可制	原則自由
学外者の利用	原則自由	原則禁止

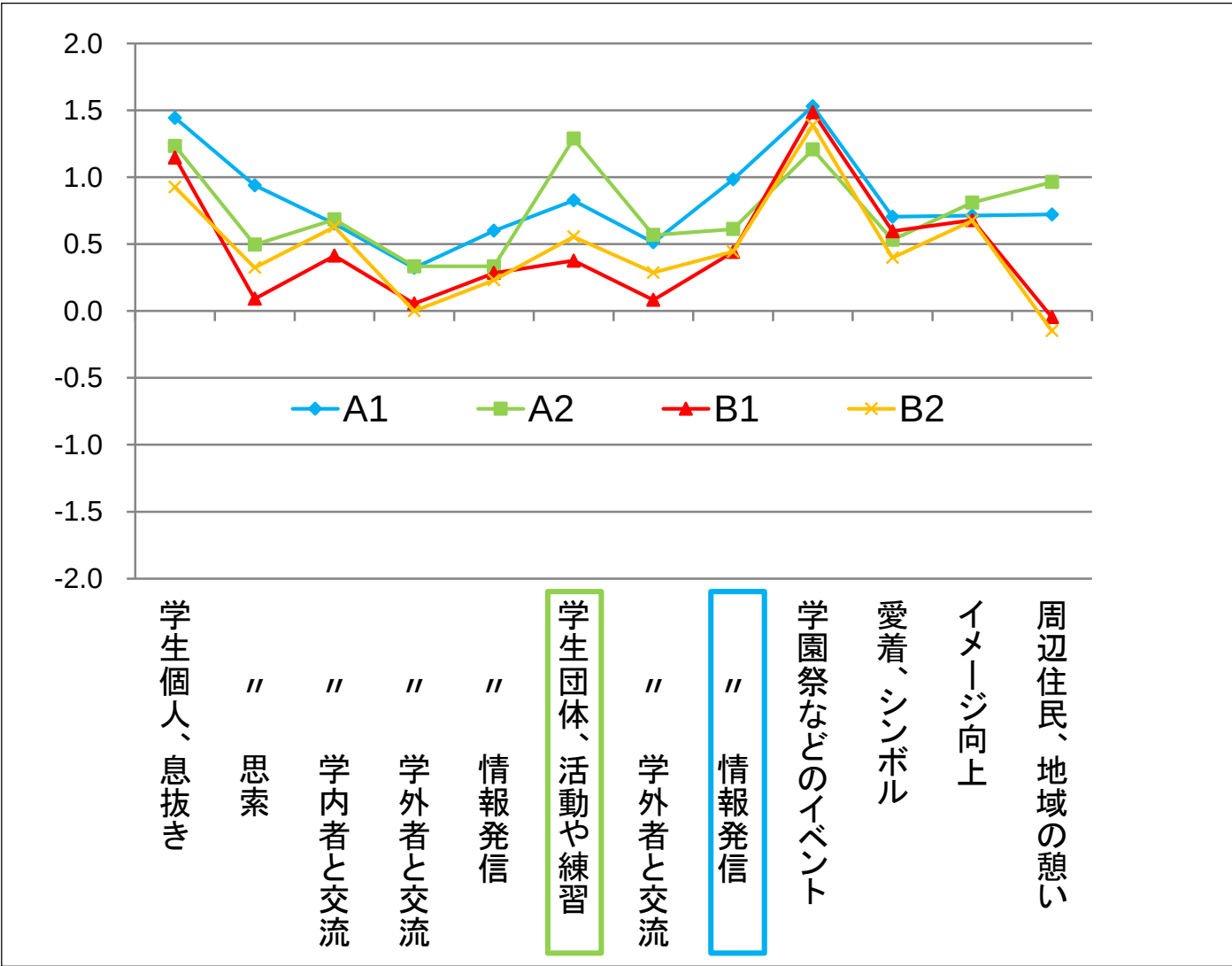
■機能に対する意識(平均評価点)

評価点 【とても重要(+2点)ー重要(+1点)ーどちらとも言えない(0点)ー重要でない(-1点)ー全く重要でない(-2点)】



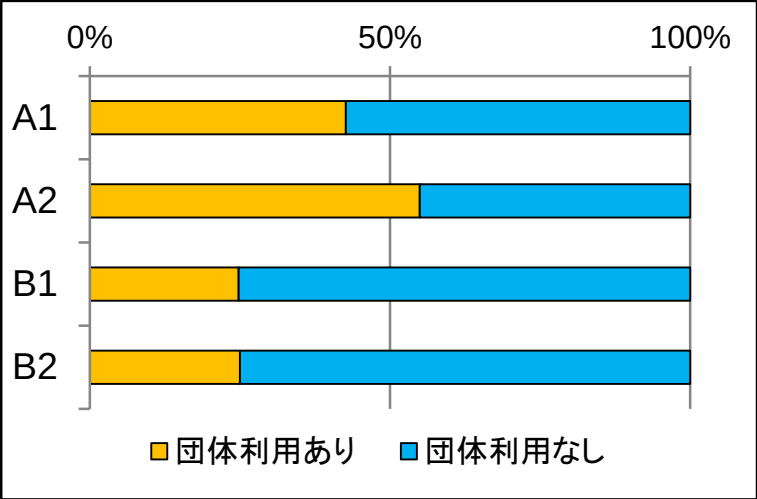
■機能に対する意識(平均評価点)

評価点 【とても重要(+2点)ー重要(+1点)ーどちらとも言えない(0点)ー重要でない(-1点)ー全く重要でない(-2点)】

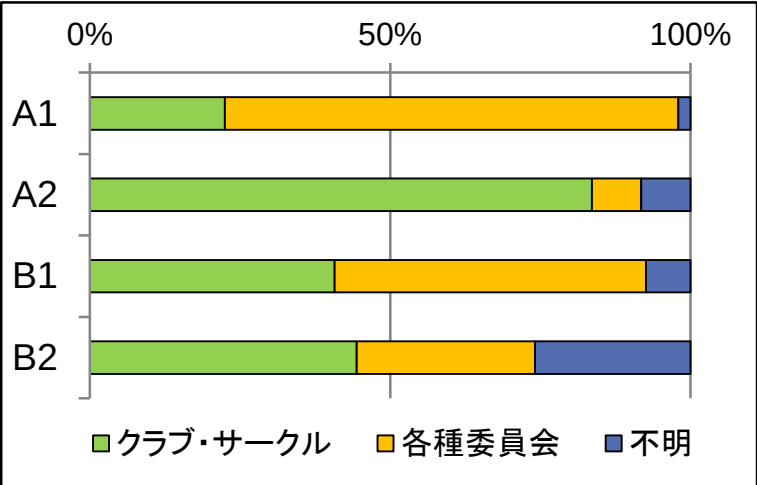


3章 利用実態の把握 学生団体の活動としての利用(団体利用)

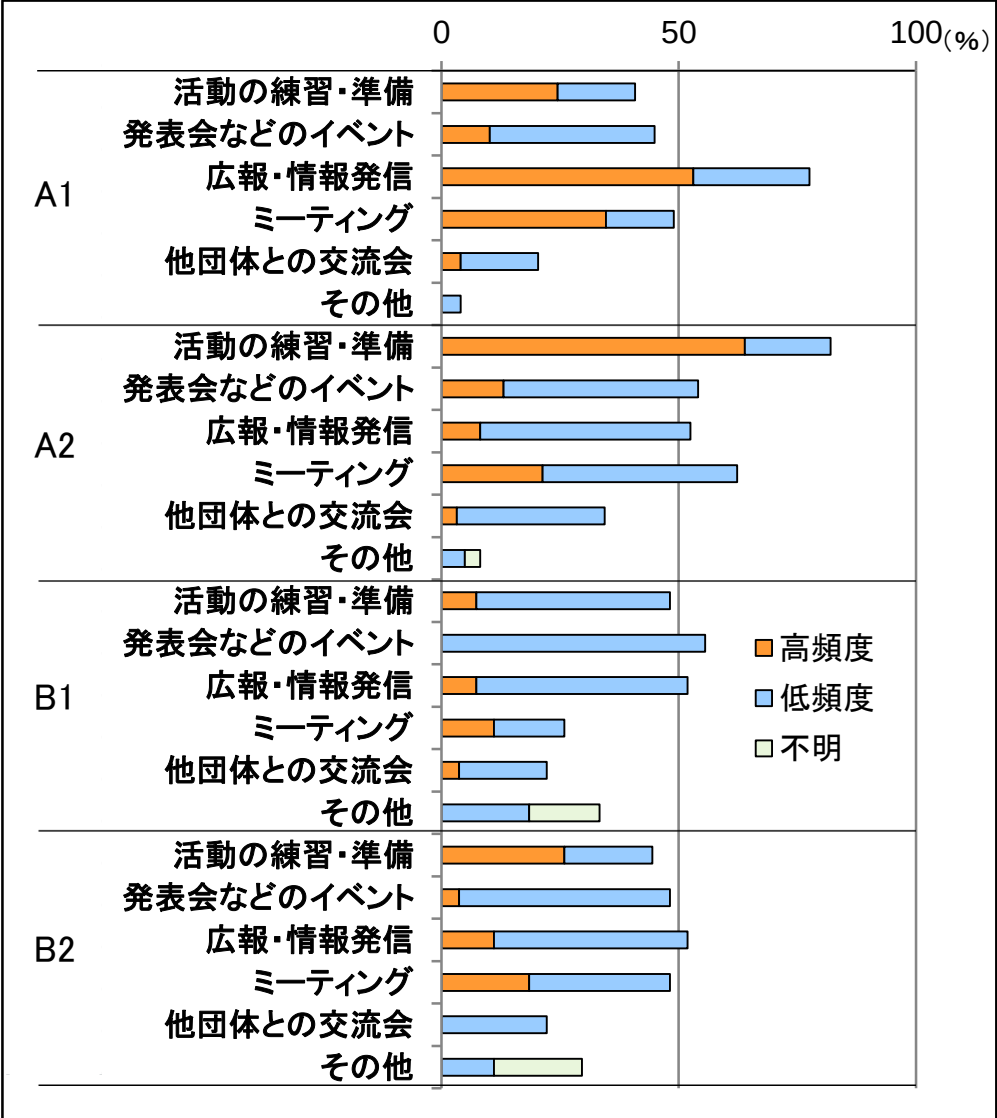
■ 団体利用の有無



■ 利用団体種別

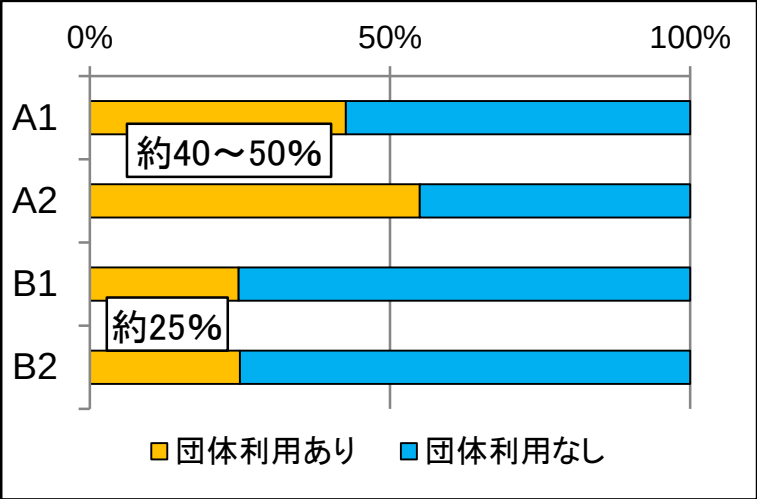


■ 利用内容と頻度

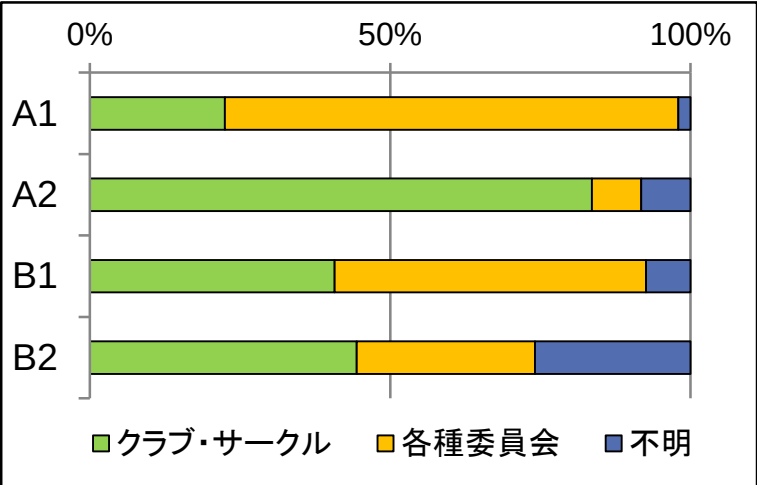


3章 利用実態の把握 学生団体の活動としての利用(団体利用)

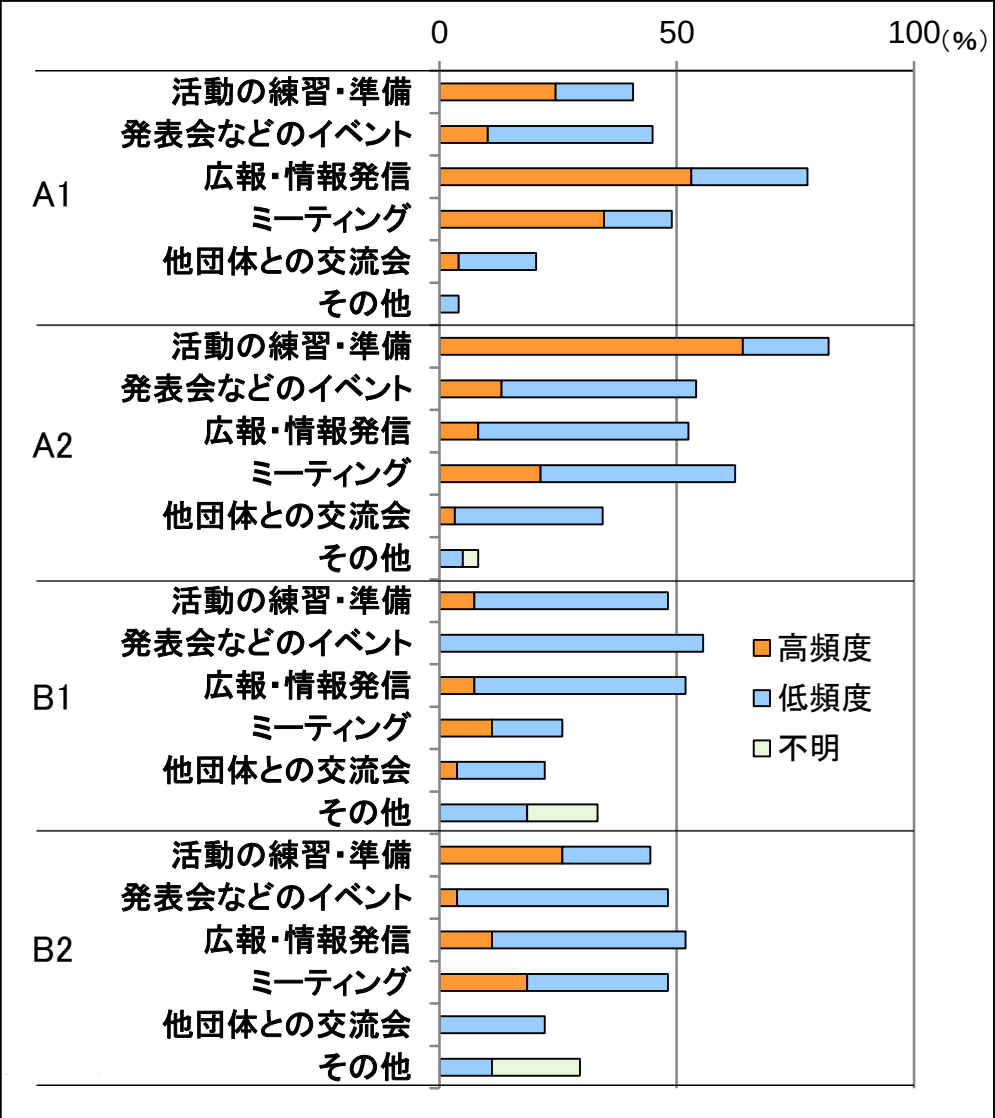
■ 団体利用の有無



■ 利用団体種別

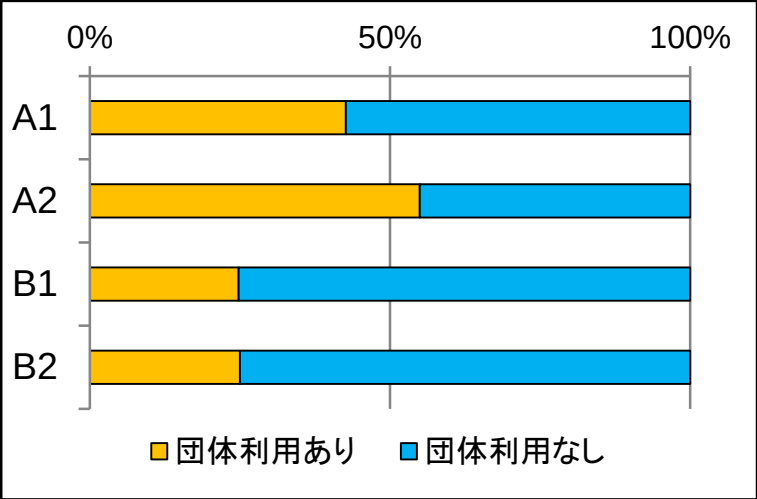


■ 利用内容と頻度

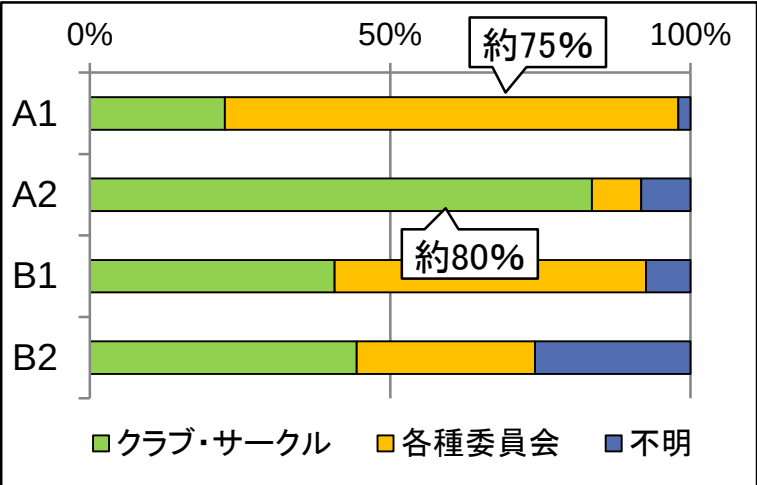


3章 利用実態の把握 学生団体の活動としての利用(団体利用)

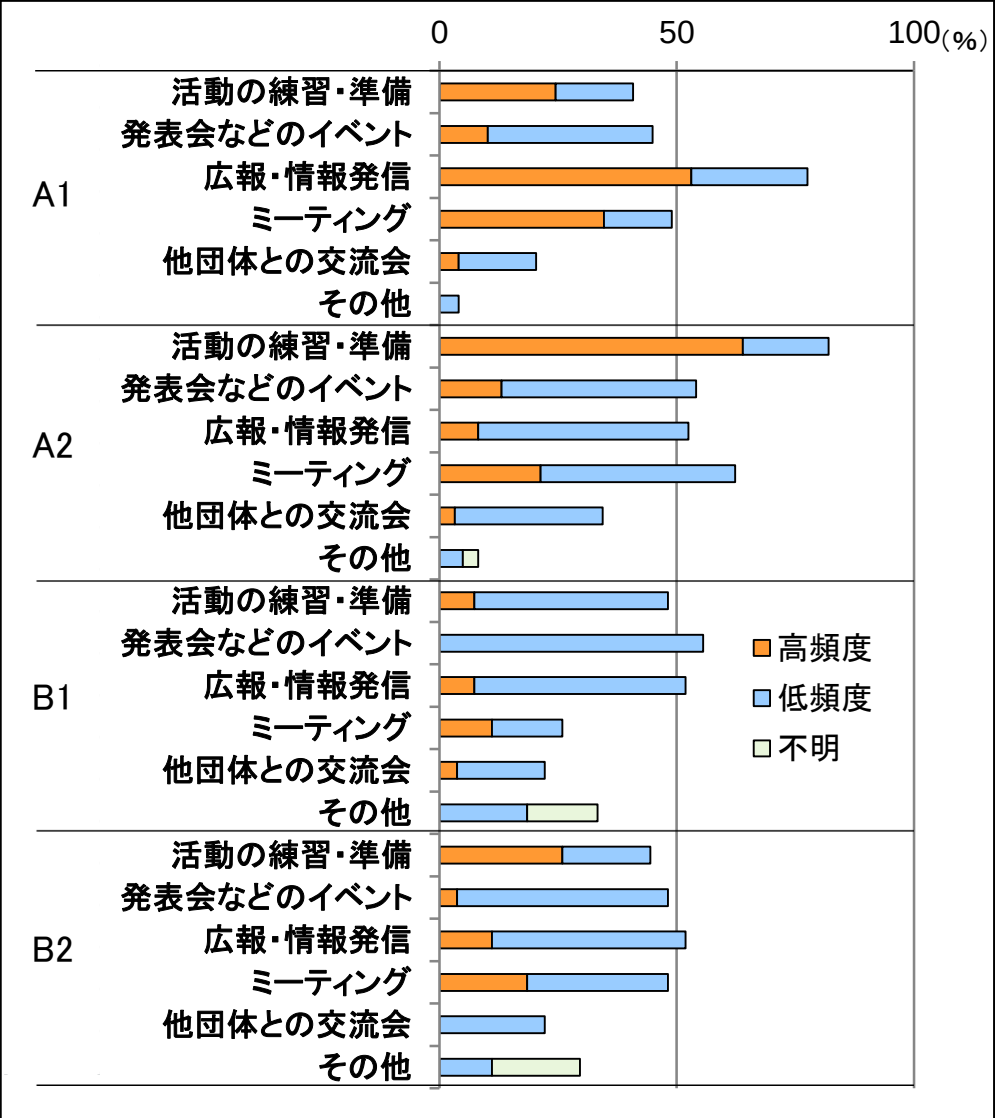
■ 団体利用の有無



■ 利用団体種別

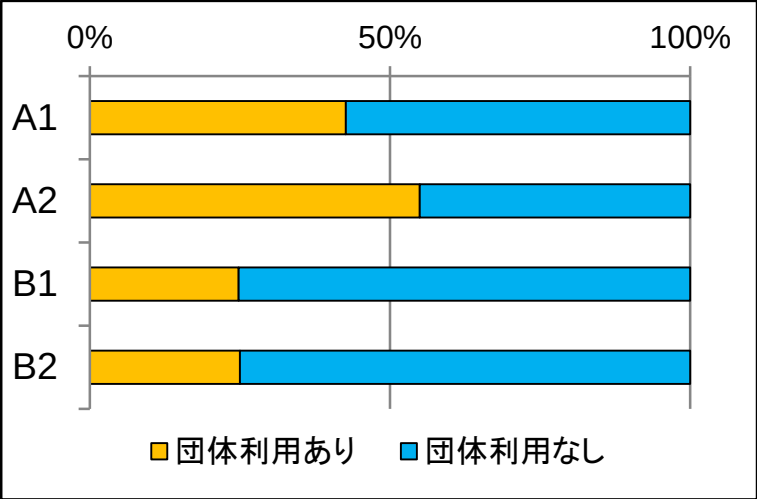


■ 利用内容と頻度

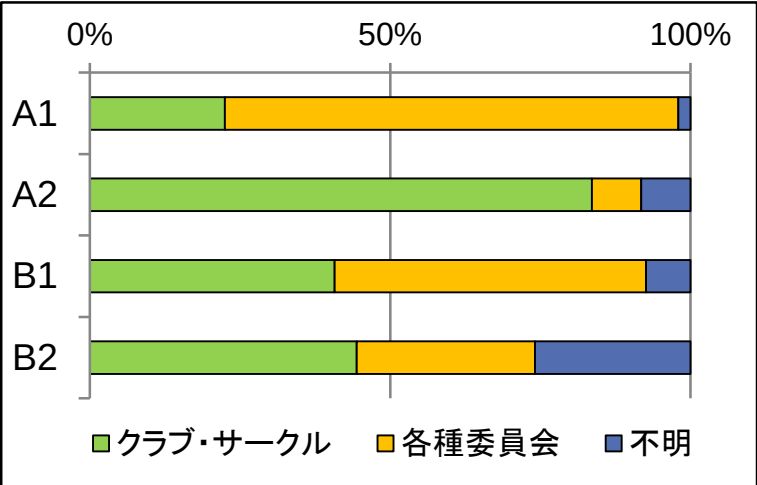


3章 利用実態の把握 学生団体の活動としての利用(団体利用)

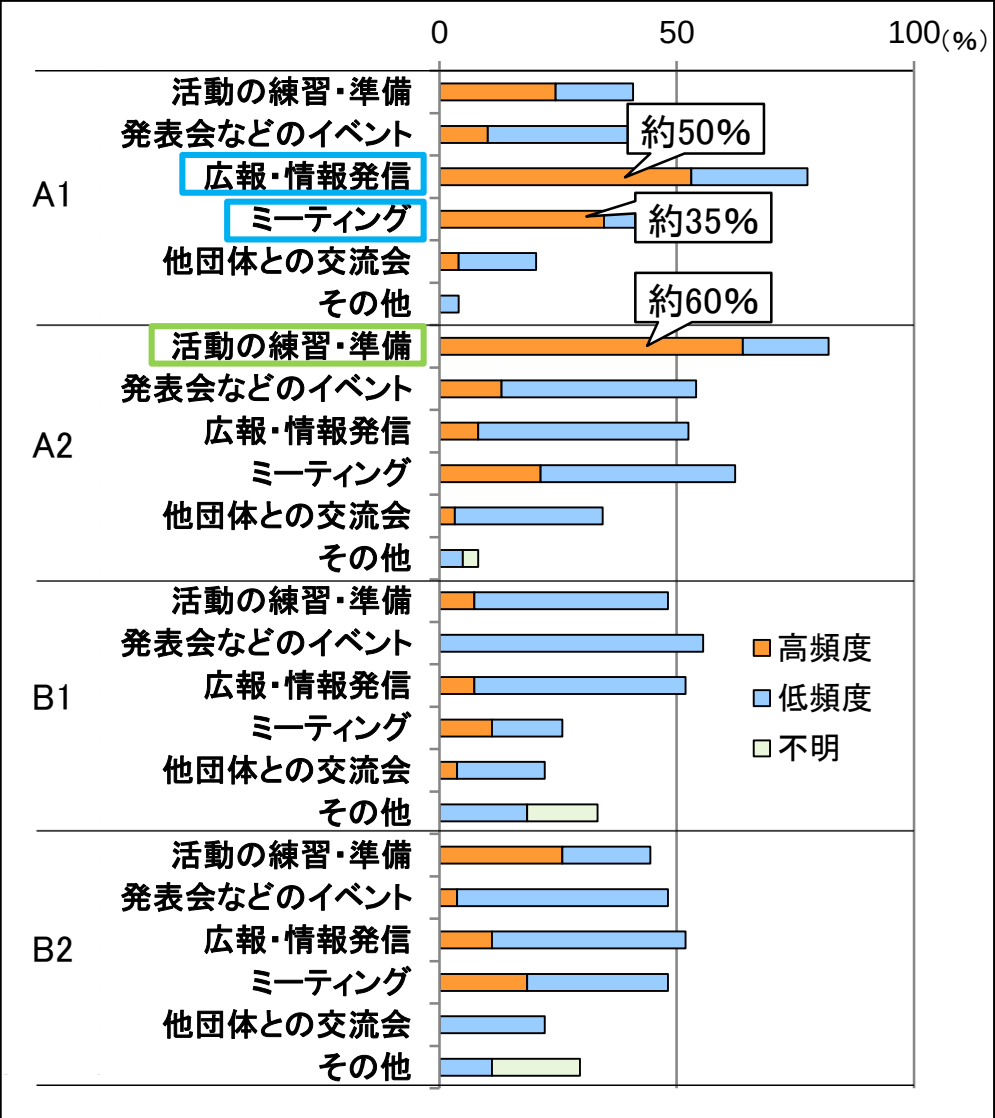
■ 団体利用の有無



■ 利用団体種別

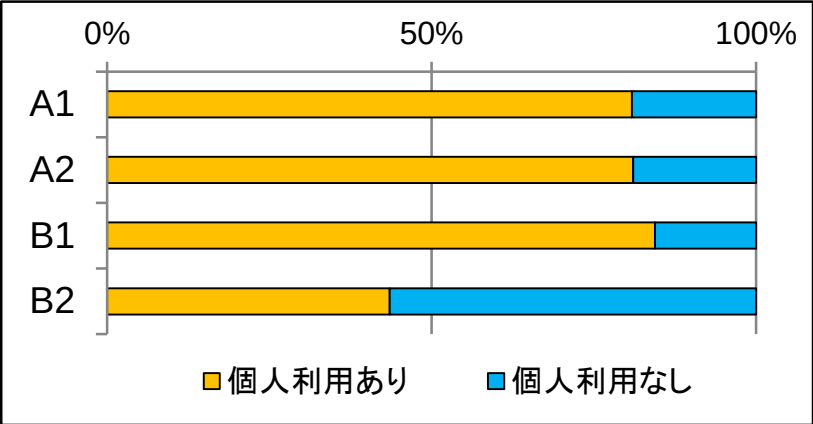


■ 利用内容と頻度

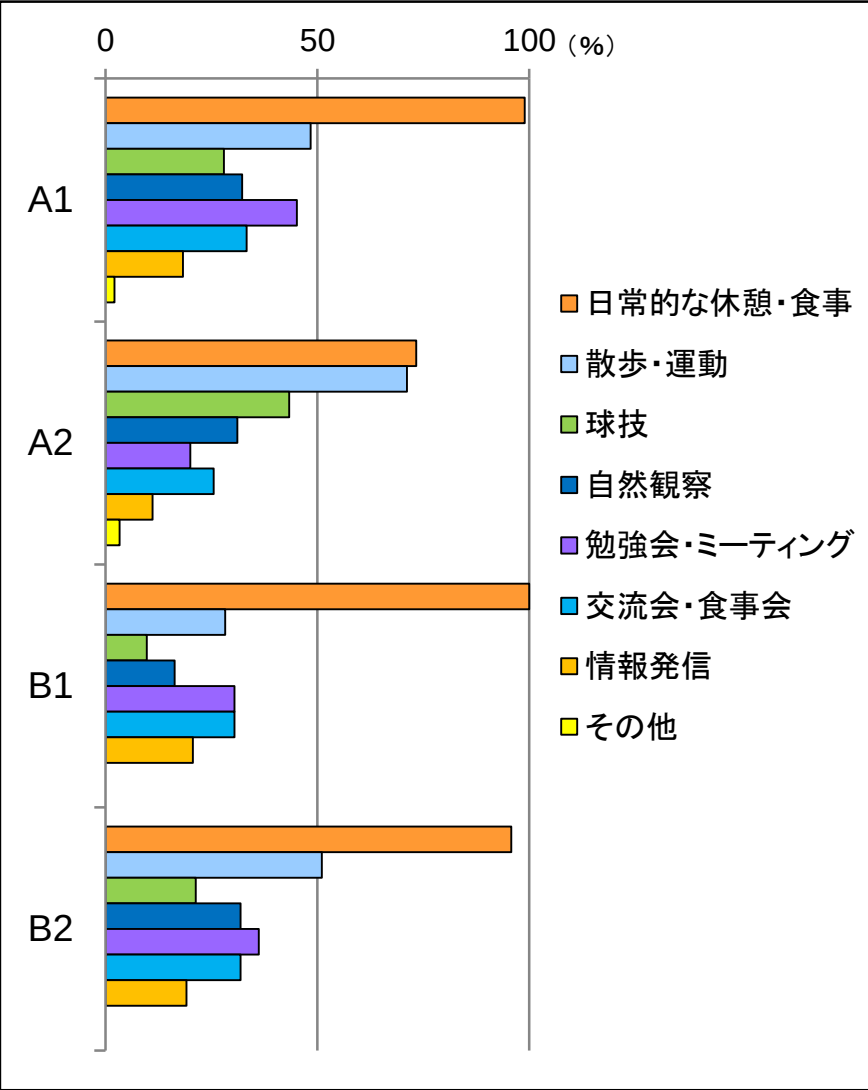


3章 利用実態の把握 学生団体の活動以外での利用(個人利用)

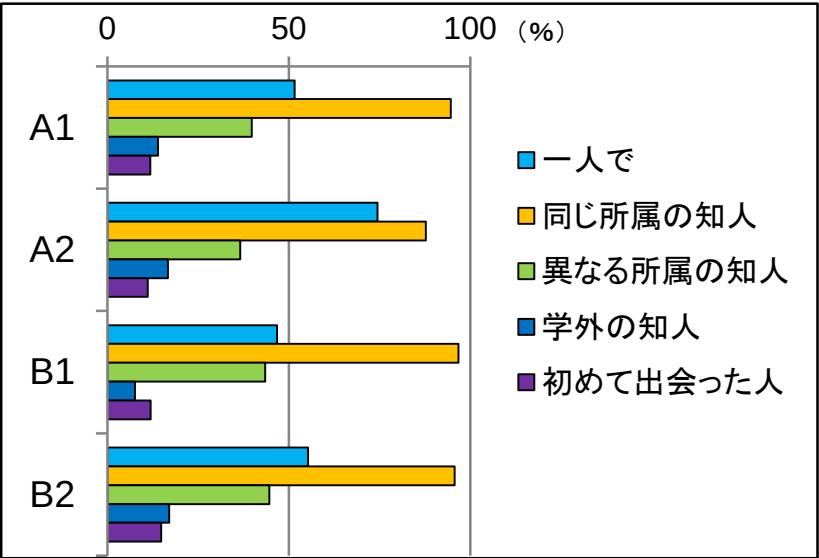
■個人利用の有無



■利用内容

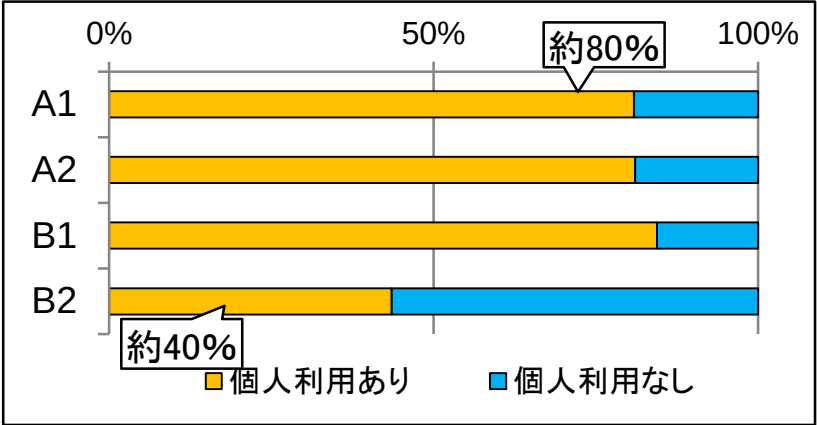


■一緒に利用する相手

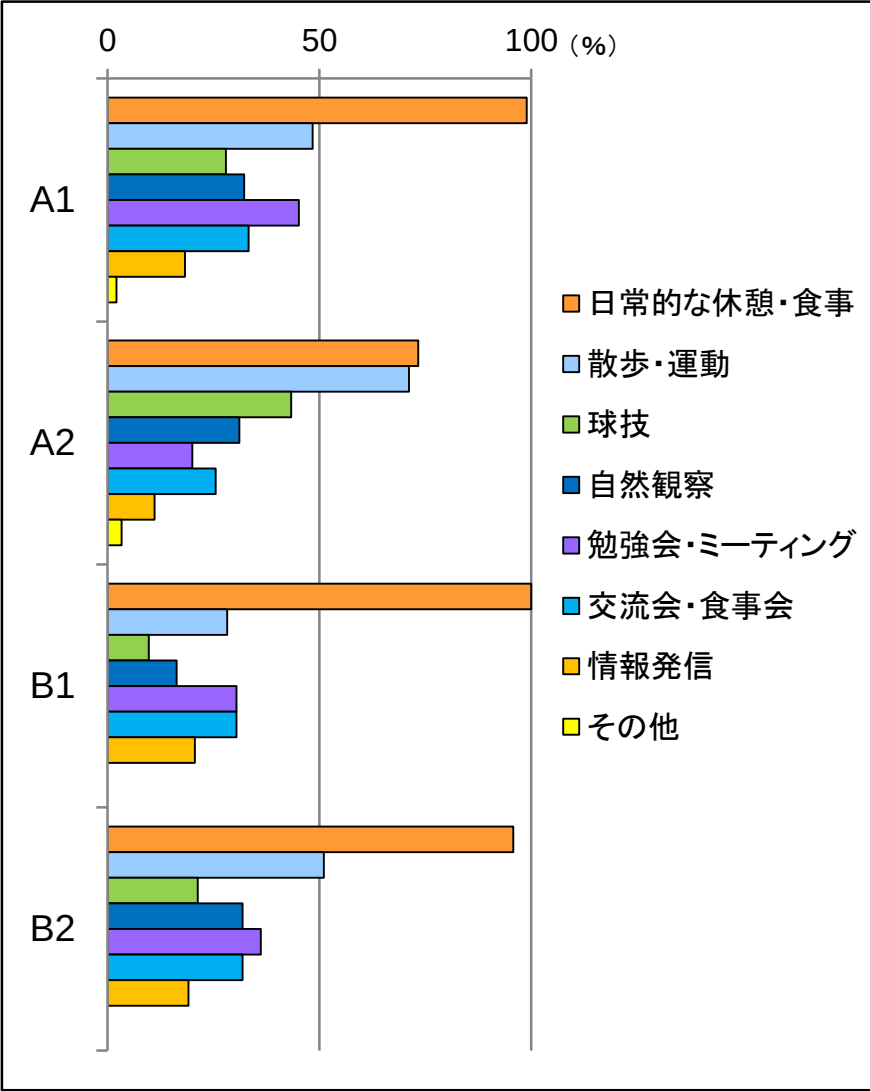


3章 利用実態の把握 学生団体の活動以外での利用(個人利用)

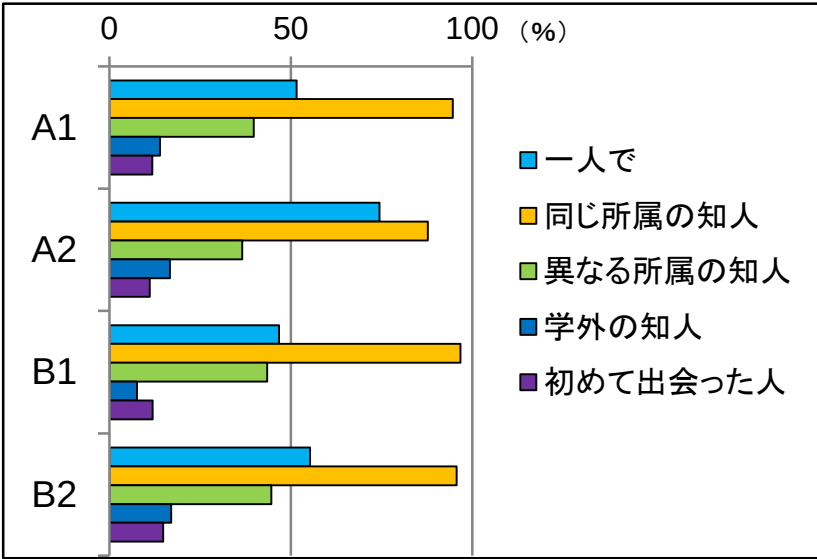
個人利用の有無



利用内容

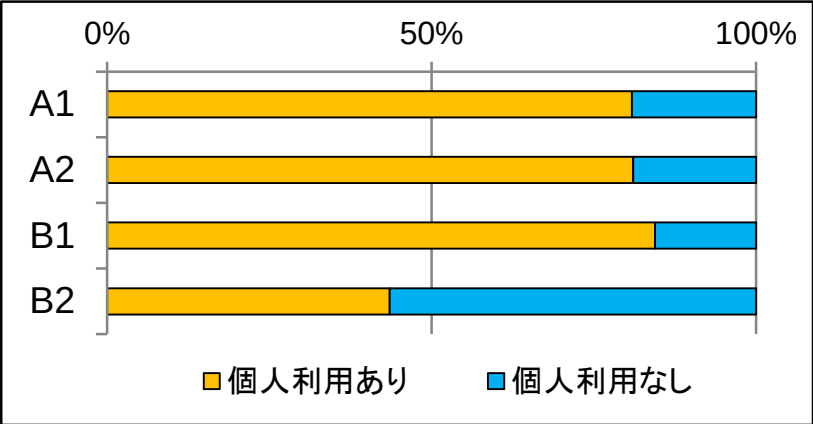


一緒に利用する相手

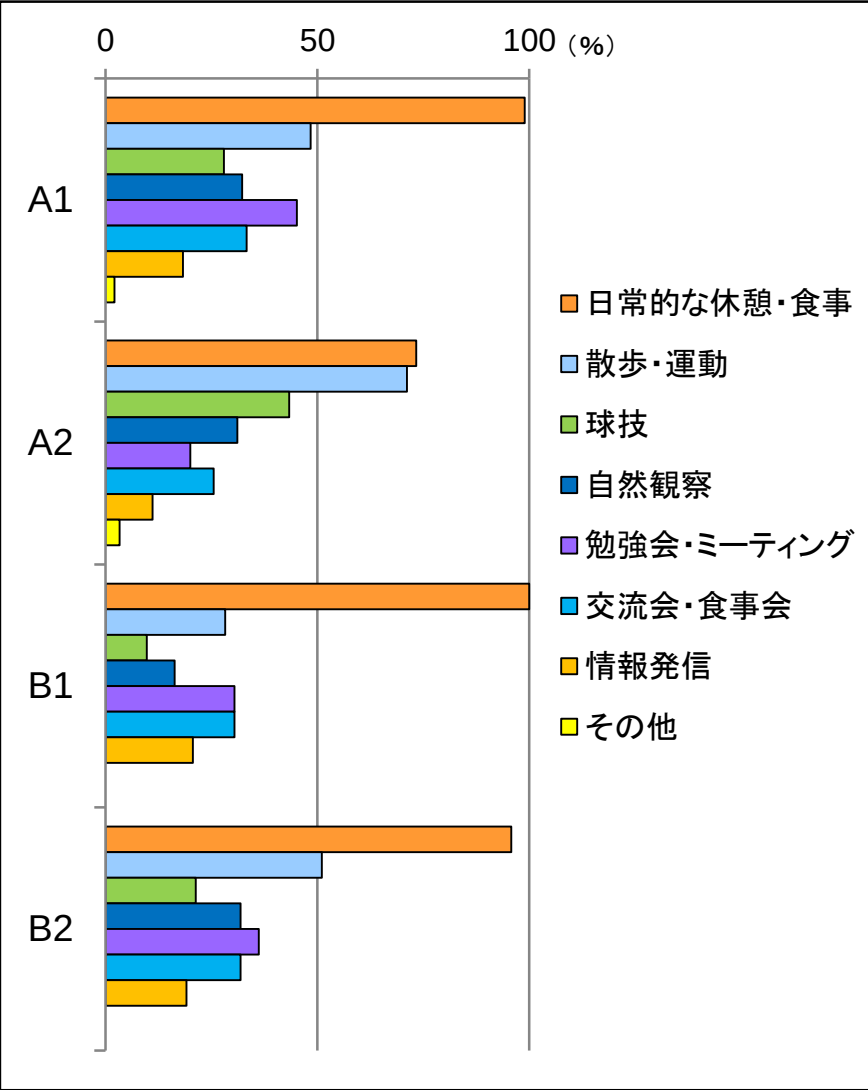


3章 利用実態の把握 学生団体の活動以外での利用(個人利用)

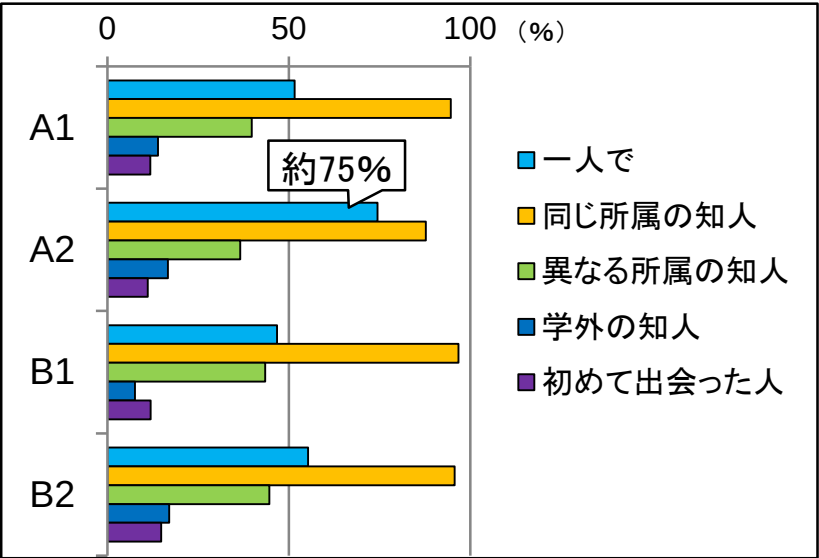
個人利用の有無



利用内容

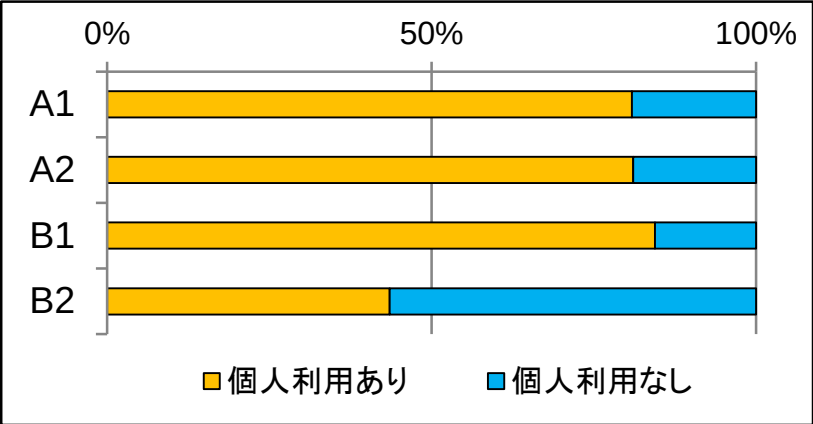


一緒に利用する相手

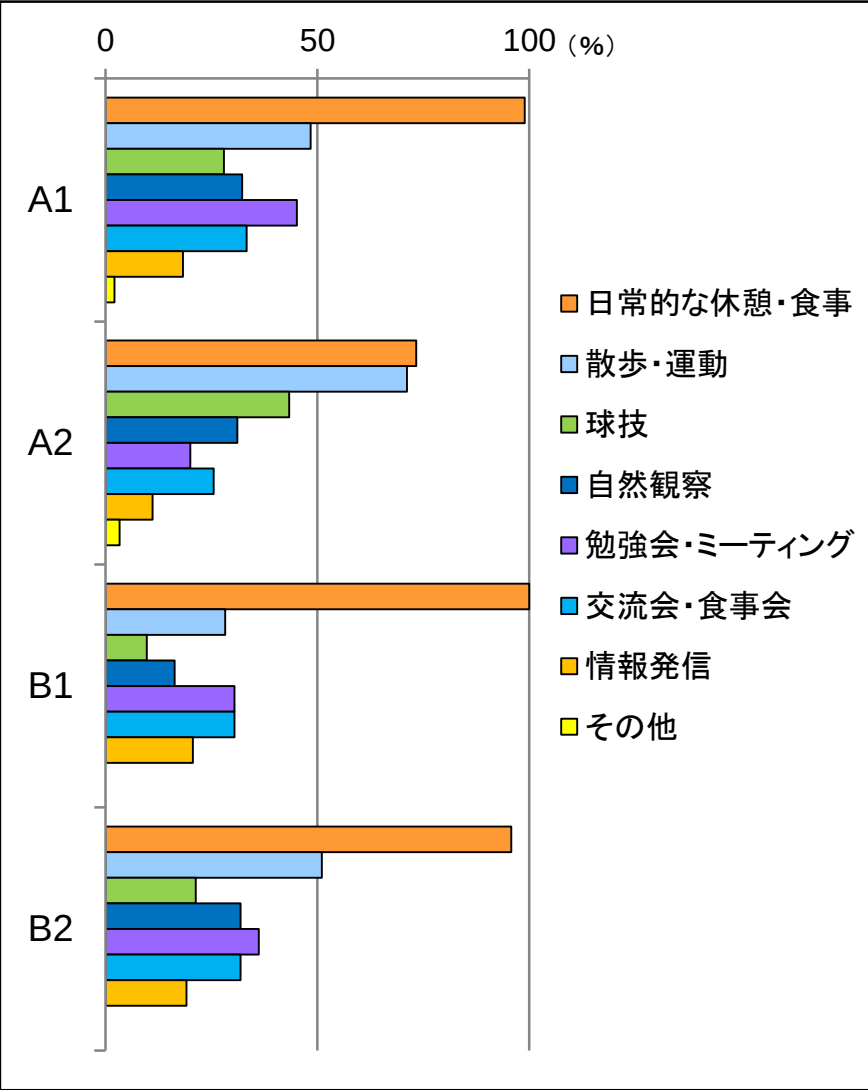


3章 利用実態の把握 学生団体の活動以外での利用(個人利用)

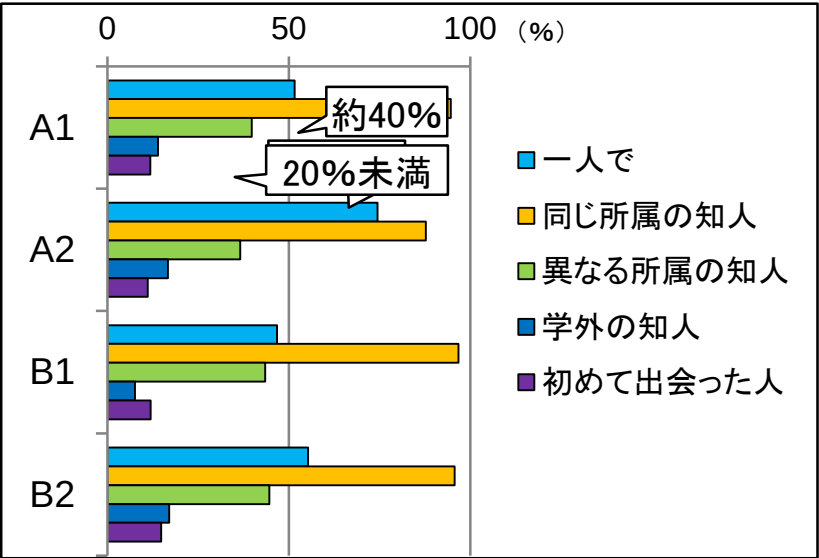
個人利用の有無



利用内容

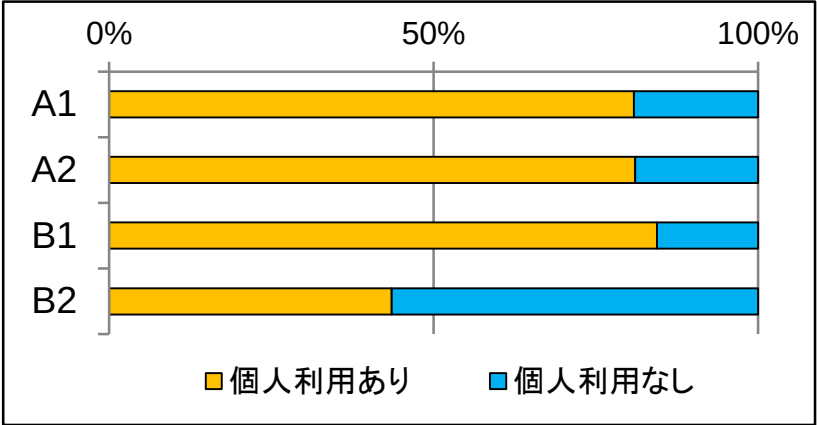


一緒に利用する相手

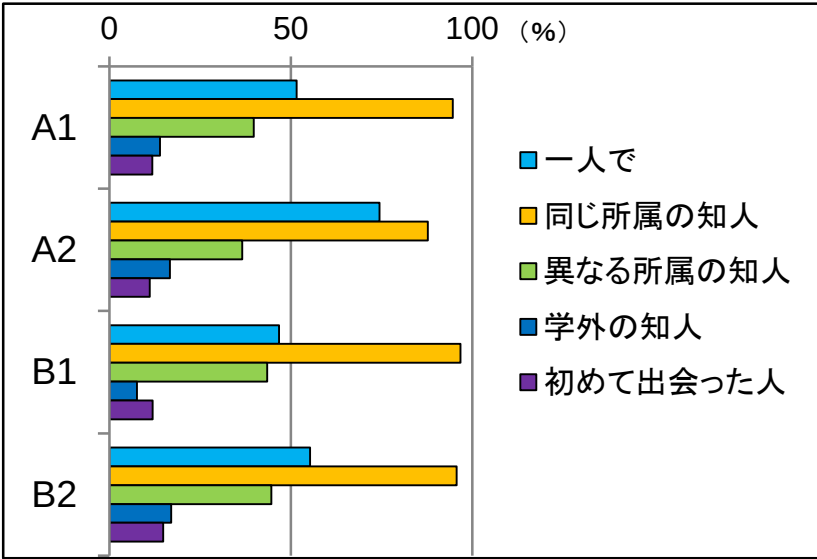


3章 利用実態の把握 学生団体の活動以外での利用(個人利用)

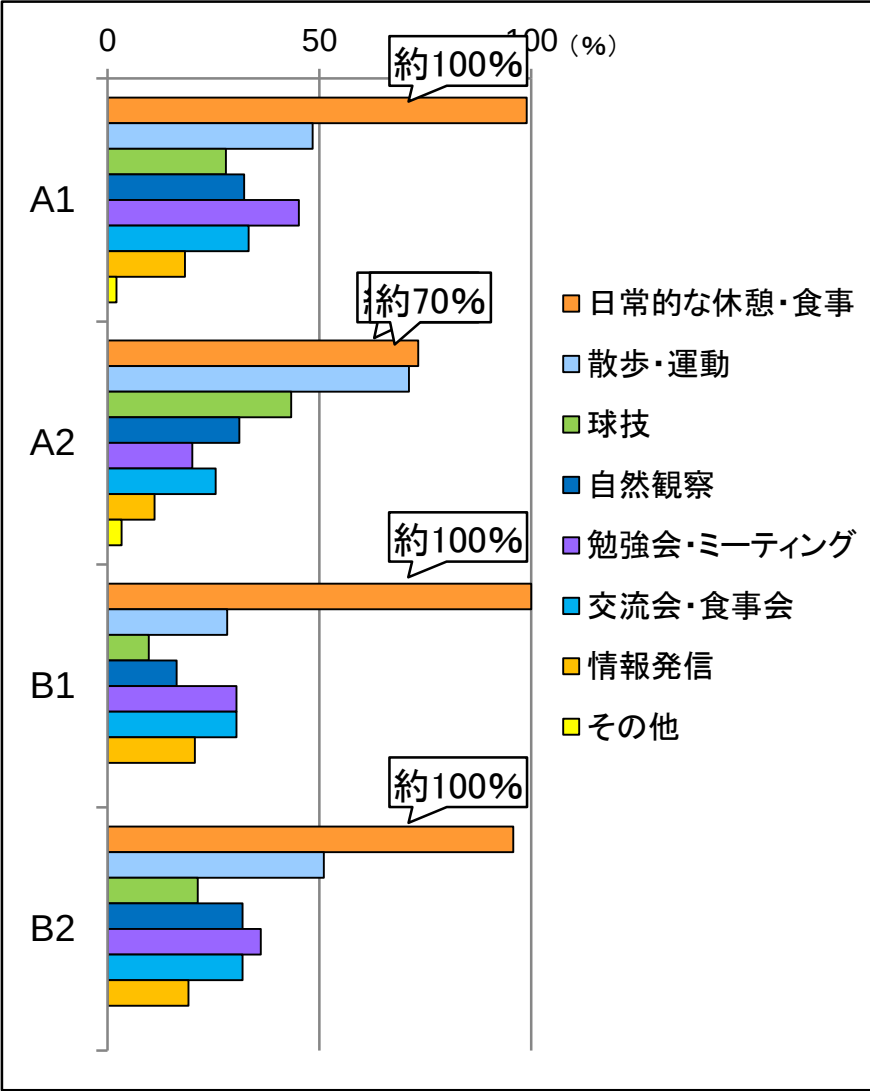
個人利用の有無



一緒に利用する相手

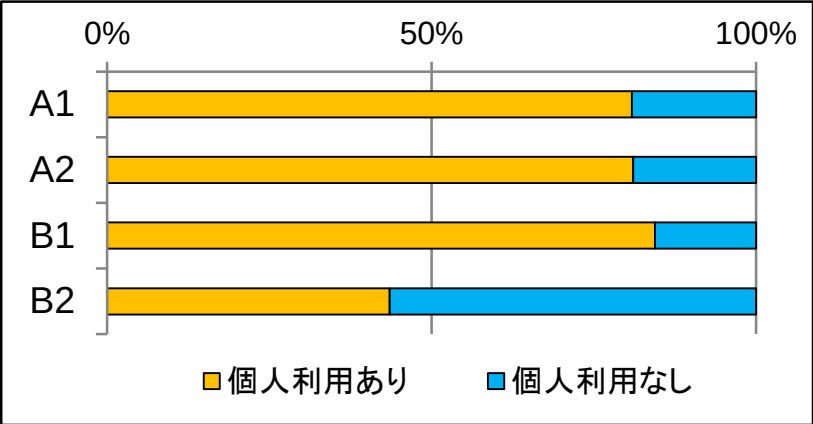


利用内容

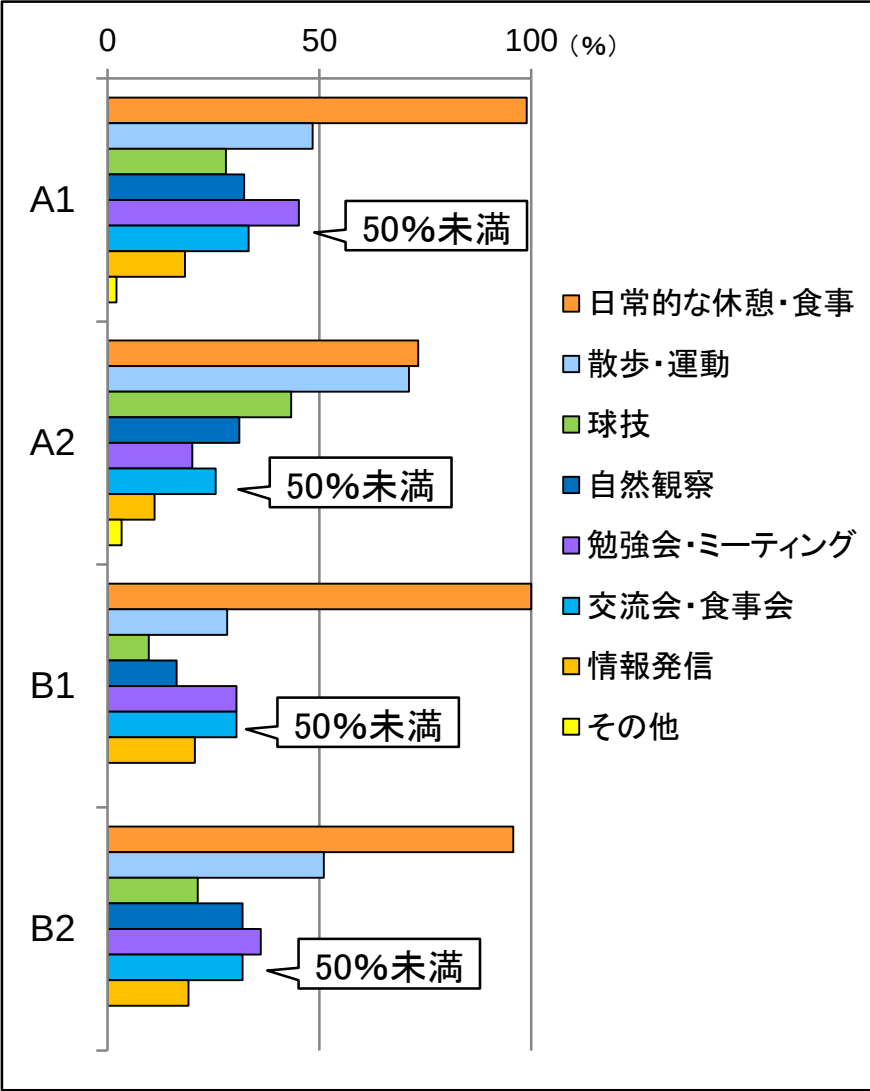


3章 利用実態の把握 学生団体の活動以外での利用(個人利用)

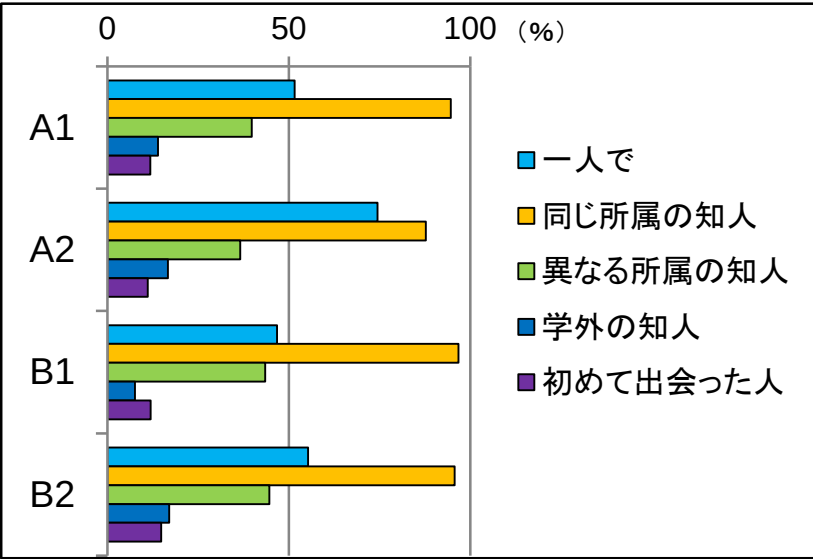
■個人利用の有無



■利用内容

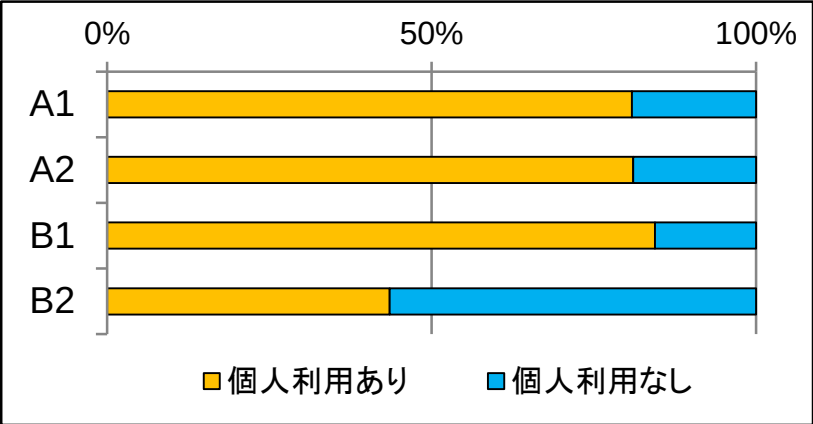


■一緒に利用する相手

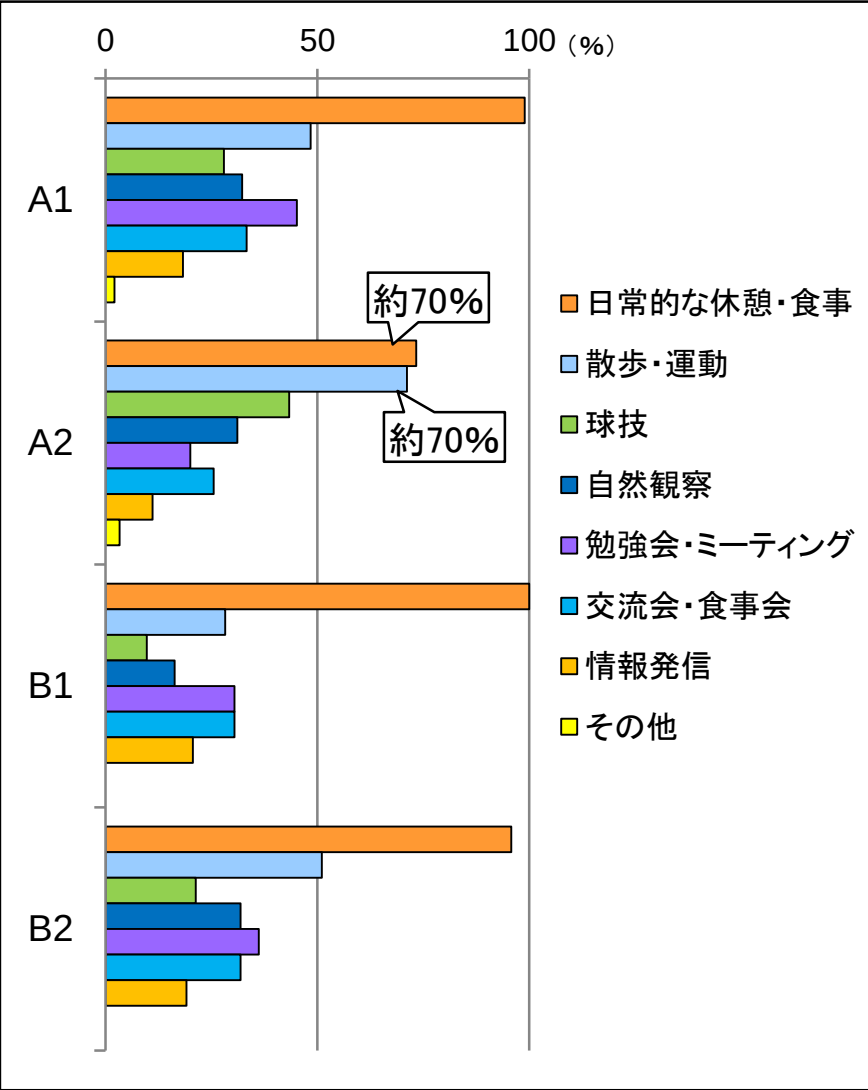


3章 利用実態の把握 学生団体の活動以外での利用(個人利用)

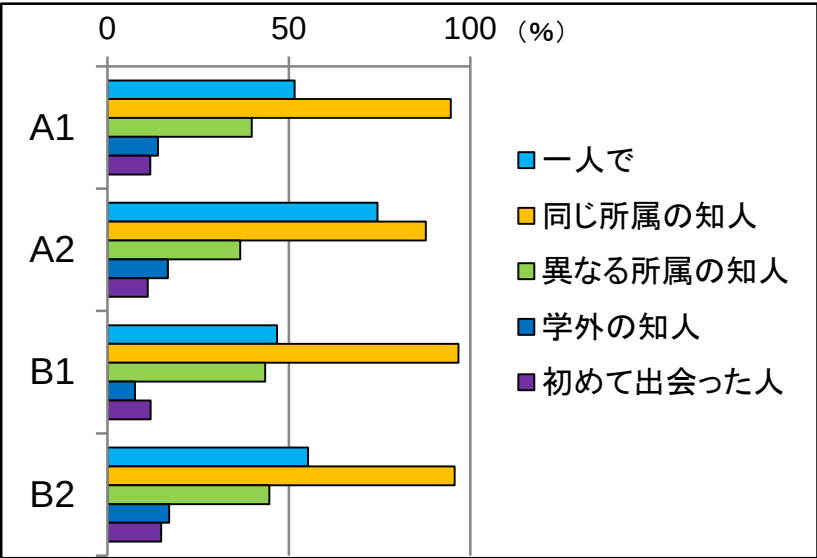
■個人利用の有無



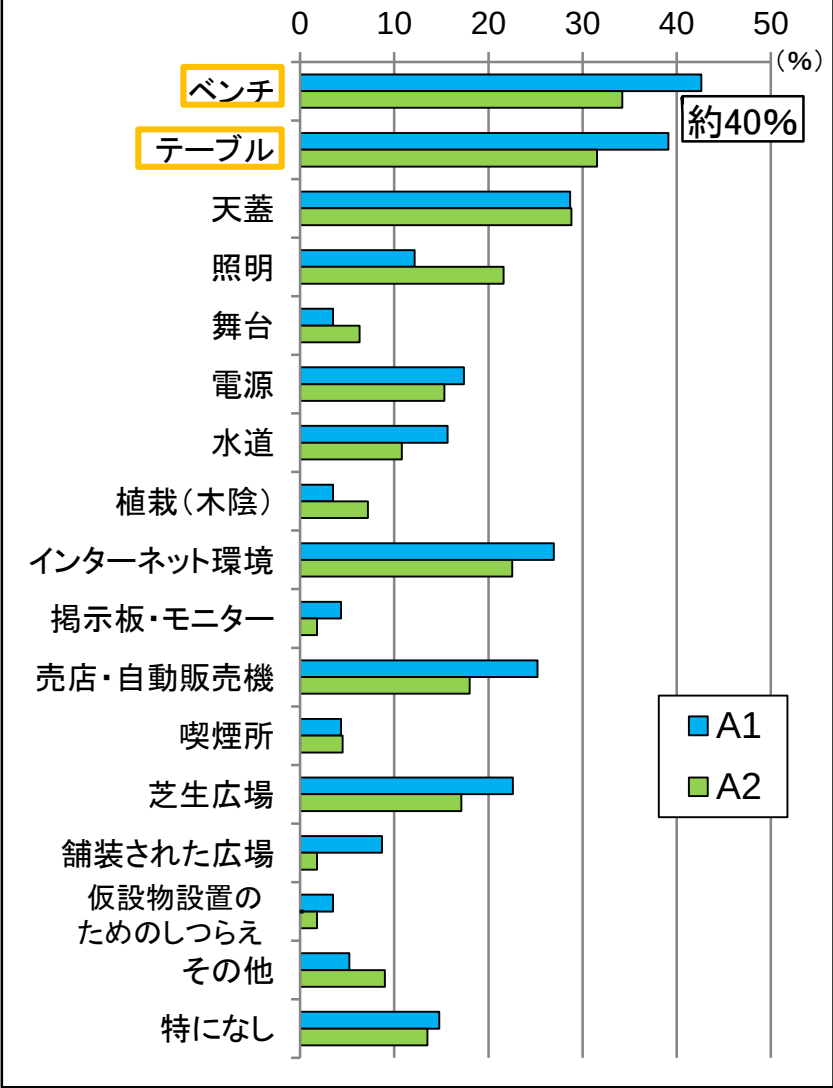
■利用内容



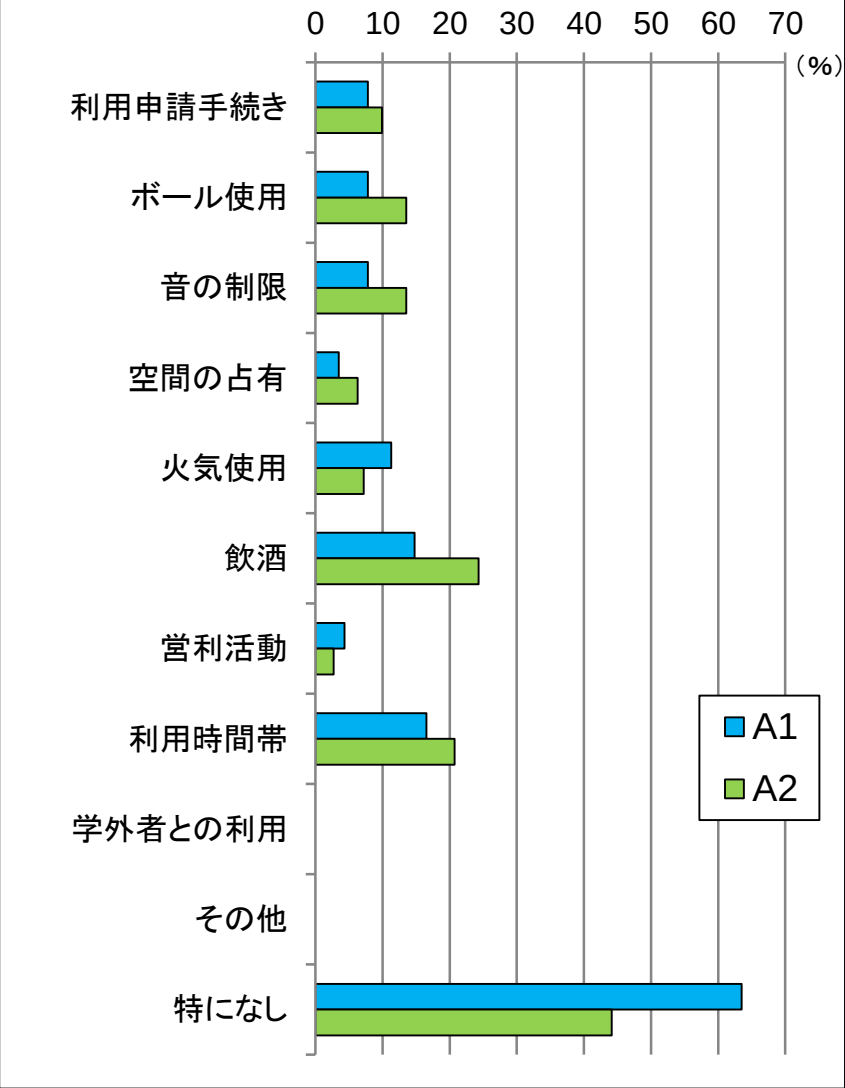
■一緒に利用する相手



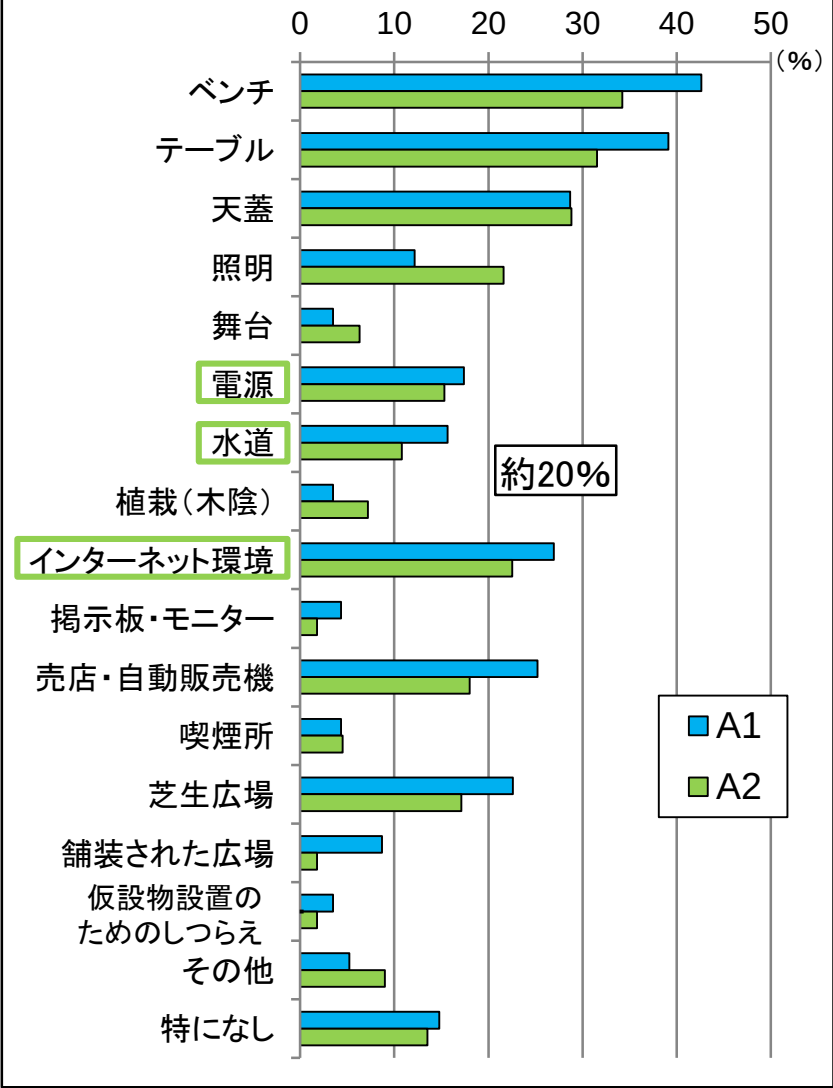
■ 充実を希望する装置



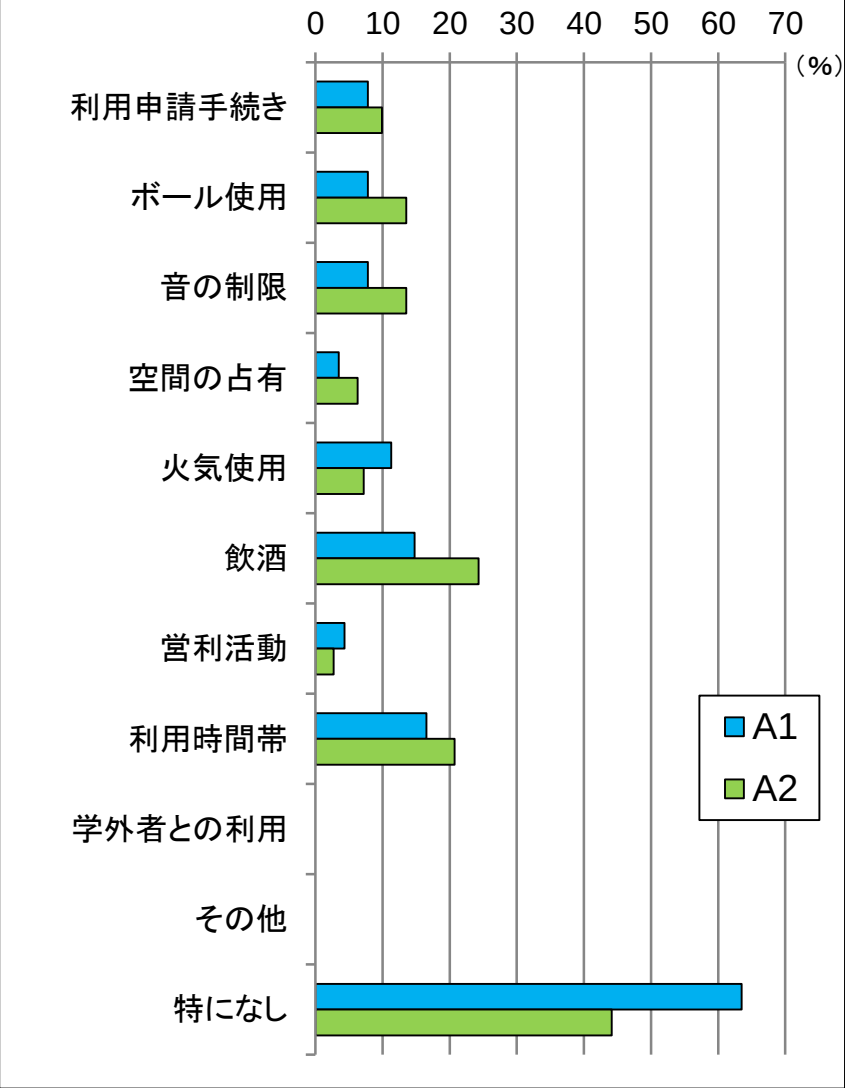
■ 緩和を希望する規制



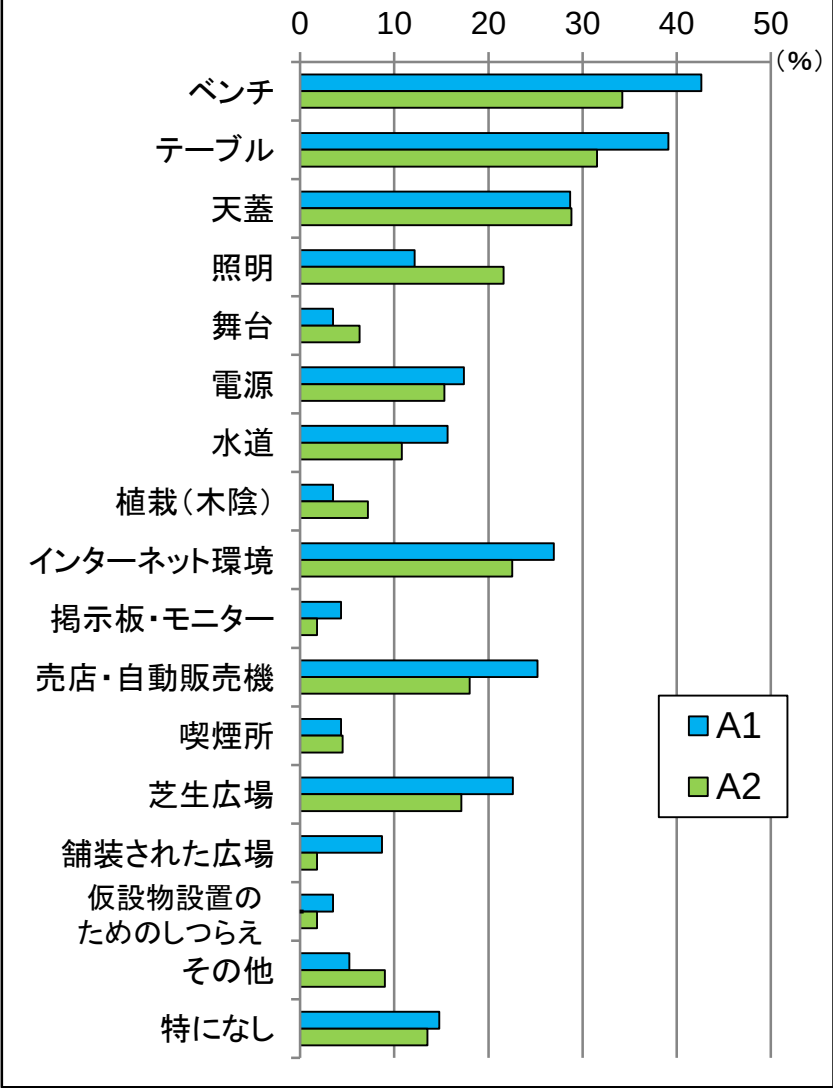
■ 充実を希望する装置



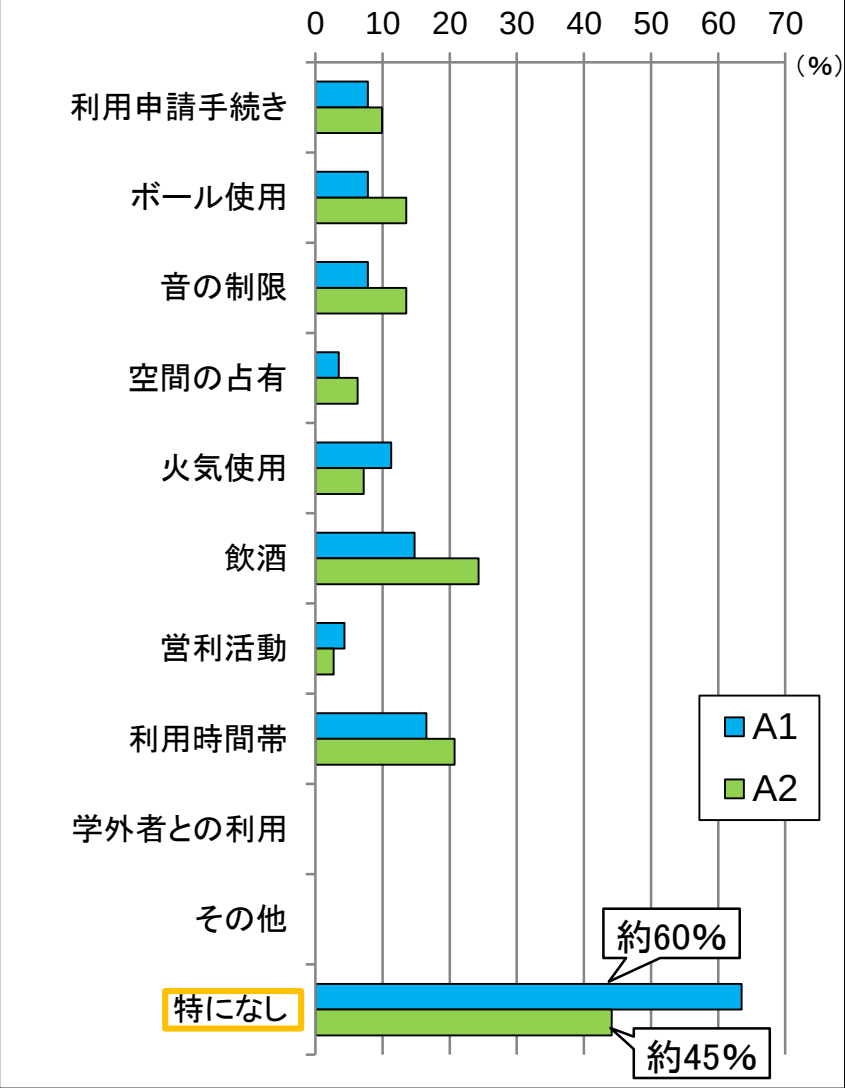
■ 緩和を希望する規制



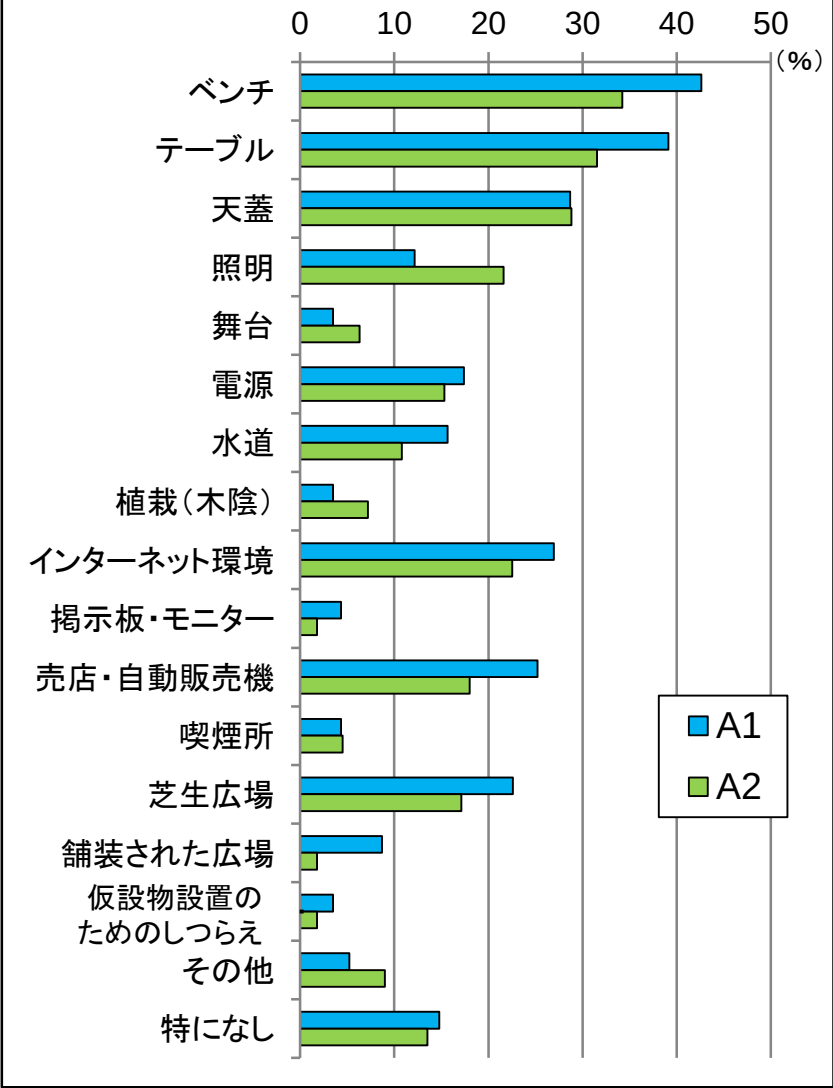
■ 充実を希望する装置



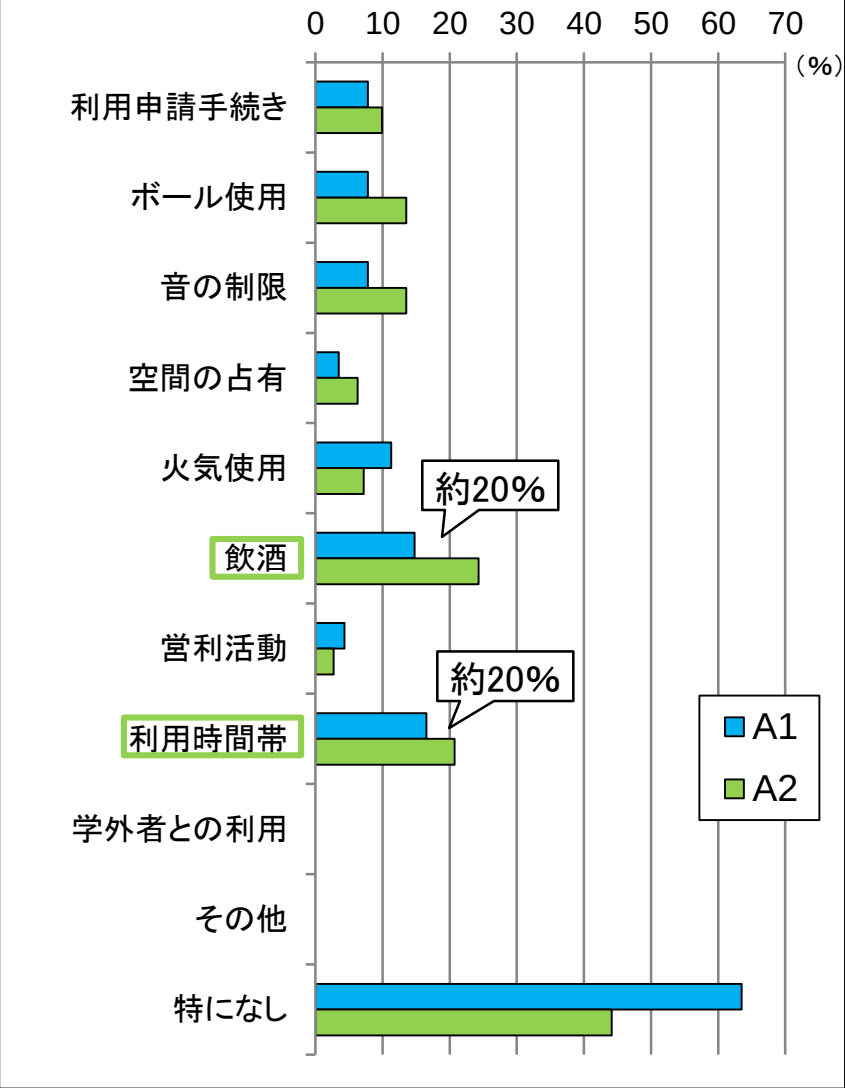
■ 緩和を希望する規制



■ 充実を希望する装置



■ 緩和を希望する規制



2章・3章のまとめ

■OSの整備と管理・運営の実態(第2章)のまとめ

●施設管理者の意識に関する課題

- ・学生団体の活動や情報発信、学外者との交流など、学生の主体的な活動、多様な交流の場としての機能については意識が高まっていない

●利用規則に関する課題

- ・利用規則の整備が進んでおらず、また規制によって公開性や自由性が低い大学がある

●装置に関する課題

- ・学生生活に特徴的な利用を支える装置が充実していない

■OSの利用実態(第3章)のまとめ

●利用の多寡

- ・A1とA2では団体・個人利用ともに機能分担が生じており、機能に対する意識が高く、利用も多い
- ・部室や福利厚生施設といったキャンパスライフを支える施設に隣接する広場は利用が多い

●交流の多様性に関する課題

- ・個人利用では、異なる所属の知人、学外の知人、初めて出会った人、といった日常的な交流が少ないもの同士の交流や出会いの場としてはあまり機能していない

●利用の多様性に関する課題

- ・個人利用では、日常的な休憩や食事での利用が中心で、勉強会や交流会などでの利用は少ない

4章 多様な学生活動を支援するOSのあり方

■多様な学生活動を支援するOSのあり方

●施設管理者の意識

- ・学生の主体的な活動、多様な交流の場としてのOSの機能に対して、予算の計上も含めて施設管理者の意識向上が必要

●多様な学生活動を支えるOSの整備のあり方

- ・空間特性・機能特性に配慮した整備

＝キャンパスライフを支える他の施設との一体的な整備・機能に応じた装置の充実

●多様な学生活動を支えるOSの管理・運営のあり方

- ・空間特性・機能特性に配慮した場所ごとの規則の制定・緩和、期間・時間ごとの柔軟な規則運用
→活動の多様性を保障
- ・学生との十分な意見交換に基づく規則制定 →学生活動の自由性・自律性の保障
- ・学外者等多様な人々に対する公開性の向上
- ・交流イベント等への積極的な支援 →多様な交流の活性化

ご清聴ありがとうございました。